

神奈川県後期高齢者医療広域連合
第2期保健事業実施計画
(データヘルス計画)

平成30年度～令和5年度

平成30年6月作成
令和3年2月改訂
神奈川県後期高齢者医療広域連合

-目次-

第1章	計画策定について	
	1. 計画策定の背景及び中間評価	1
	2. 計画期間	2
	3. 基本方針	2
	4. データヘルス計画の位置づけ	3
	5. 実施体制・関係者連携	3
	6. データ分析	3
第2章	現状と課題把握	
	1. 保険者の特性把握	4
	(1) 神奈川県の子人口と被保険者数の推移	4
	(2) 被保険者の状況	5
	(3) 被保険者数の推移	6
	(4) 死因に関する分析	6
	2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	7
	(1) 健康診査事業	7
	(2) 歯科健康診査事業	8
	(3) 医療費通知事業	9
	(4) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業	10
	(5) ジェネリック医薬品利用差額通知事業	11
	3. 医療情報分析結果	12
	(1) 基礎統計	12
	① 市区町村別被保険者数	12
	② 基礎統計	14
	③ 市区町村別医療費	16
	(2) 高額レセプトの件数及び医療費	22
	① 高額レセプトの件数及び割合	22
	② 市区町村別高額レセプトの件数及び割合	24
	③ 高額レセプト発生患者の疾病傾向	26
	(3) 疾病別医療費	28
	① 大分類による疾病別医療費統計	28
	② 市区町村別大分類による医療費上位5疾病	30
	③ 中分類による疾病別医療費統計	32
	④ 市区町村別中分類による医療費上位5疾病	34
	4. 保健事業実施に係る分析結果	42
	(1) レセプトデータによる指導対象者群分析	42
	(2) 生活習慣病治療中断者に係る分析	43
	(3) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	45
	(4) 受診行動適正化に係る分析	50

-目次-

	(5)ジェネリック医薬品普及率に係る分析	55
	①ジェネリック医薬品普及率	55
	②市区町村別ジェネリック医薬品普及率	58
	(6)薬剤併用禁忌に係る分析	60
	5.分析結果に基づく健康課題の把握	62
	(1)分析結果	62
	(2)分析結果に基づく課題とその対策	63
第3章	保健事業実施計画	
	1.各事業の目的と概要一覧	64
	2.各事業の実施内容と評価方法	66
	(1)健康診査事業	66
	(2)歯科健康診査事業	67
	(3)重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業	68
	(4)糖尿病性腎症重症化予防事業	69
	(5)ジェネリック医薬品利用差額通知事業	70
	(6)医療費通知事業	71
	(7)市町村保健事業支援	72
	3.保健事業の実施に当たっての留意事項	73
第4章	その他	
	1.データヘルス計画の運用	74
	(1)評価	74
	(2)評価時期	74
	2.計画の公表・周知	74
	3.個人情報の取り扱い	74
	4.地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	74
巻末資料		
	疾病分類表(2013年版)	巻末資料

第1章 計画策定について

1. 計画策定の背景及び中間評価

「高齢者の医療の確保に関する法律」第125条第1項において、「後期高齢者医療広域連合(以下「広域連合」といいます。)は高齢者の心身の特性に応じ、健康教育、健康相談、健康診査及び保健指導並びに健康管理及び疾病の予防に係る被保険者の自助努力についての支援その他の被保険者の健康の保持増進のために必要な事業を行うように努めなければならない」と定められています。

近年レセプト等の電子化の進展、国保データベースシステム等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでおり、国は「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」ことを掲げ、後期高齢者医療の保険者に対しても「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく保健事業の実施等に関する指針」において、同趣旨の取組を求めています。こうした背景を踏まえ、当広域連合は健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、平成27年度を始期とする第1期データヘルス計画(平成27年度から平成29年度まで)を策定し、各種保健事業を実施してまいりました。

このたび第1期データヘルス計画の期間が満了となったことから、計画の内容及びそれに基づく保健事業の実施結果並びに効果検証等、振り返りを行いました。そして、そこから得られた知見や課題を踏まえ、第2期データヘルス計画を策定いたしました。当広域連合は、この計画に基づき、被保険者の更なる健康の保持増進に取り組んでまいります。

令和2年度には、平成30年度及び令和元年度の事業実績と効果検証結果に基づき、中間評価を実施し、外部有識者から保健事業に関する助言を受け、実施体制・目標値等の見直しを行いました。

第2期データヘルス計画策定から3年が経過し、高齢者の保健事業を取り巻く環境にも変化がありました。「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版」(令和元年10月)や「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針」(令和2年3月)が新たに示され、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の取組みが令和2年度から開始されました。

見直しにあたっては、これまで2年間の取組みの評価とともに、第2期データヘルス計画策定後のこうした社会情勢の変化も踏まえ、今後取り組むべき課題を整理しました。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、都道府県における医療費適正化計画や医療計画等が、平成30年度から令和5年度までを計画期間としており、これらとの整合性を図る観点から同様の計画期間である、平成30年度から令和5年度までの6年間とします。

令和2年度には、平成30年度及び令和元年度の事業実績に基づき、中間評価を実施し、見直しを行いました。令和5年度には計画全体の仮評価を実施します。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		中間評価			仮評価

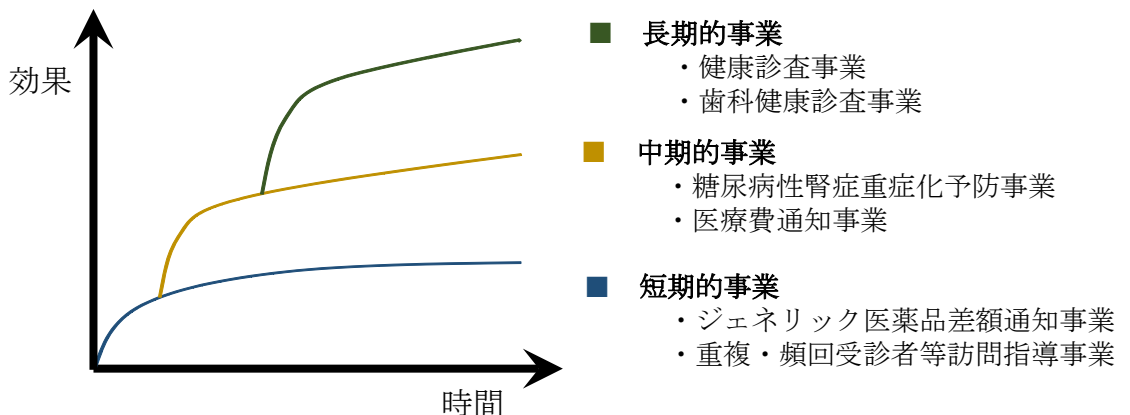
3. 基本方針

目標とする成果を達成するため、次の基本方針により本データヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確になった課題から、費用対効果の見込める事業について、PDCAサイクルを意識した継続的な取り組みを行います。
3. 実施事業に対する明確な目標を設定し、この目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。また、目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業があります。

下図は代表的な保健事業の組み合わせです。これらの事業を神奈川県後期高齢者医療広域連合の実情に合わせて、効率良く実施していきます。



4. データヘルス計画の位置づけ

本計画は、「神奈川県後期高齢者医療広域連合第3次広域計画（平成28年度～令和3年度）」における保健事業に関する個別計画に位置づけられます。

また、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次））（平成25年度～平成34年度）」に示された基本方針を踏まえるとともに、「かながわ健康プラン21（第2次）（平成25年度～令和4年度）」、「神奈川県保健医療計画（平成30年度～令和5年度）」、「神奈川県医療費適正化計画（平成30年度～平成35年度）」、及び神奈川県内の市町村で策定している保健事業増進計画等との整合性に配慮します。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、広域連合と市町村が緊密に連携を図り、高齢者の特性を踏まえた保健事業を実施することが重要です。

また、大学などの外部有識者との連携・協力により、保健事業に関する助言や分析を受けるとともに、県医師会や県歯科医師会とも連携し、効果的な保健事業を推進していきます。

6. データ分析

本データヘルス計画作成における分析するデータについては、次のとおりです。

■分析するデータの期間

入院（DPC（国が設定した病名や診療内容に対し、入院1日当たりの定額を決め、包括的医療費支払いができる制度）を含む。）、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

令和元年12月～令和2年5月診療分（6カ月分）

※レセプトデータの分析は、主に次の分析技術を活用しています。

医療費分解技術（特許第4312757号）

レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為（医薬品、検査、手術、処置、指導料など）を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

未コード化疾病のコード化

レセプトに記載されている未コード化疾病を可能な限りコード化する。

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 神奈川県のご人口と被保険者数の推移

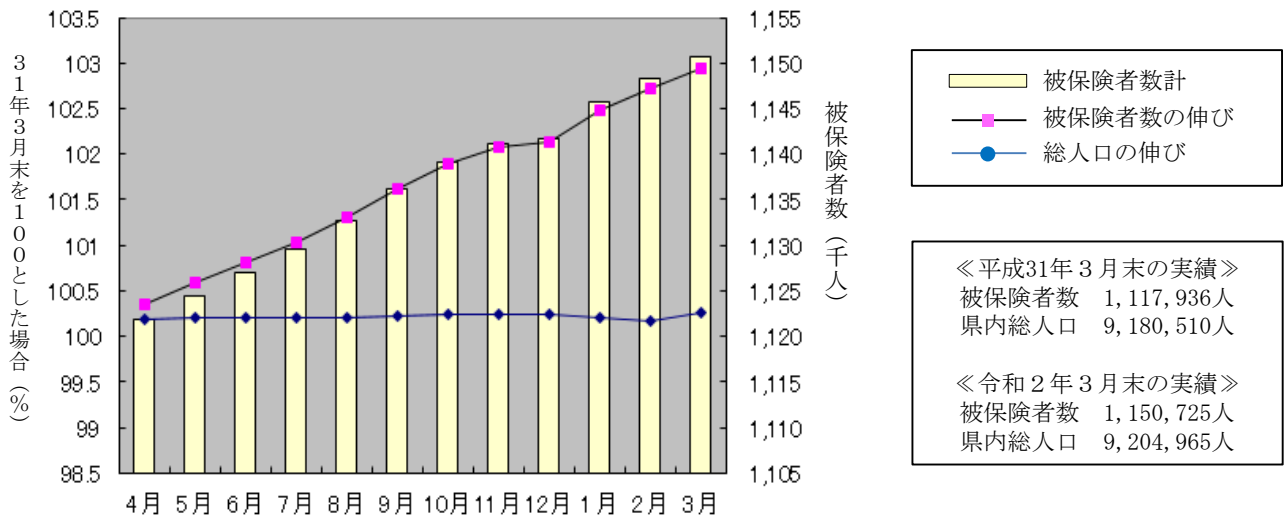
当広域連合の被保険者数は、東京都、大阪府に次いで、全国で3番目の多数となっています。総人口が平成31年3月末から令和2年3月末までの間に2万4,455人(0.27%)増加したのに対し、被保険者数は3万2,789人(2.93%)増加しており、総人口に対する被保険者数の割合は平成31年3月末では12.2%、令和2年3月末は12.5%に増加しています。高齢化率、75歳以上の割合、高齢者世帯(単独世帯)率は、軒並み伸びている状態です。

本広域連合の状況

本広域連合の被保険者数	1,117,936人 (平成31年3月末)	1,150,725人 (令和2年3月末)
神奈川県の総人口	9,180,510人 (平成31年3月末)	9,204,965人 (令和2年3月末)
神奈川県の高齢化率 ※65歳以上の者の割合	24.9% (平成31年1月1日現在)	25.1% (令和2年1月1日現在)
全国の高齢化率 ※65歳以上の者の割合	28.1% (平成30年人口推計)	28.4% (令和元年人口推計)
神奈川県の75歳以上割合	12.2% (平成31年3月末)	12.5% (令和2年3月末)
高齢者世帯(単独世帯)率 ※65歳以上の者のみの世帯の割合	27.6%(13.4%) (平成30年国民生活基礎調査)	28.7%(14.2%) (令和元年同調査)

出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 令和元年度神奈川県後期高齢者医療事業報告書
 神奈川県 令和2年神奈川県年齢別人口統計調査
 総務省 人口推計
 厚生労働省 令和元年国民生活基礎調査

神奈川県の人口と被保険者数の伸び率の推移

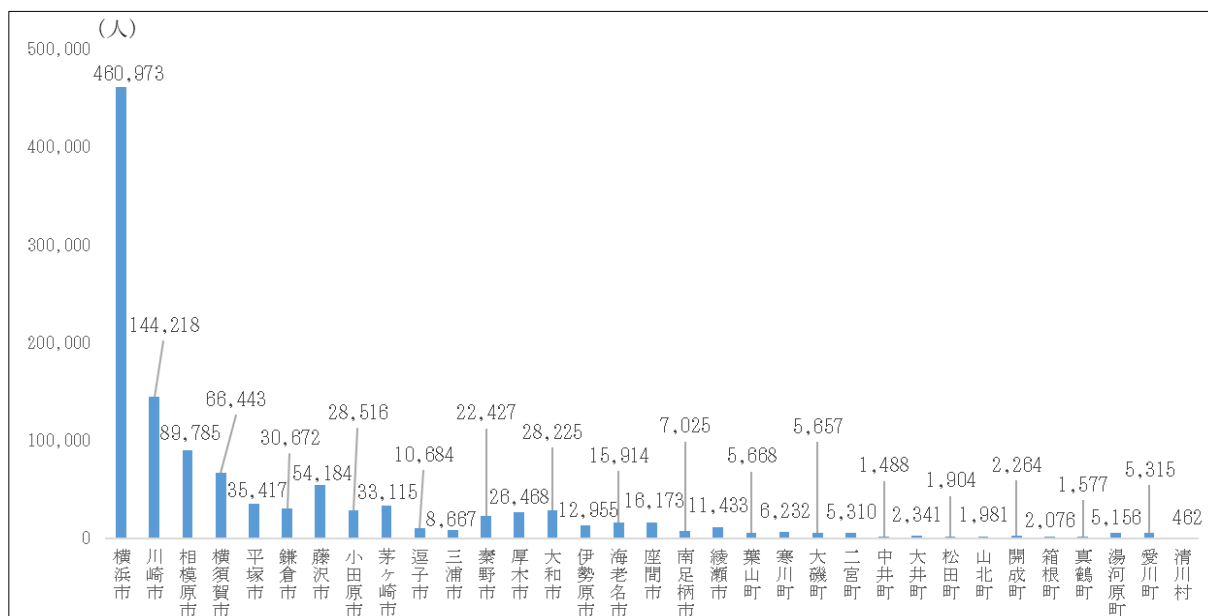


出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 令和元年度神奈川県後期高齢者医療事業報告書

(2) 被保険者の状況

被保険者の人口構成を市町村別・所得階層別に示します。被保険者の4割が横浜市にいらることがわかります。

市町村名別 被保険者数(令和2年3月末)



被保険者：75歳以上の者及び一定の障がいがある65歳～74歳の者
 神奈川県後期高齢者医療広域連合 2020年3月現在集計結果

所得階層別 被保険者数(令和2年3月末)

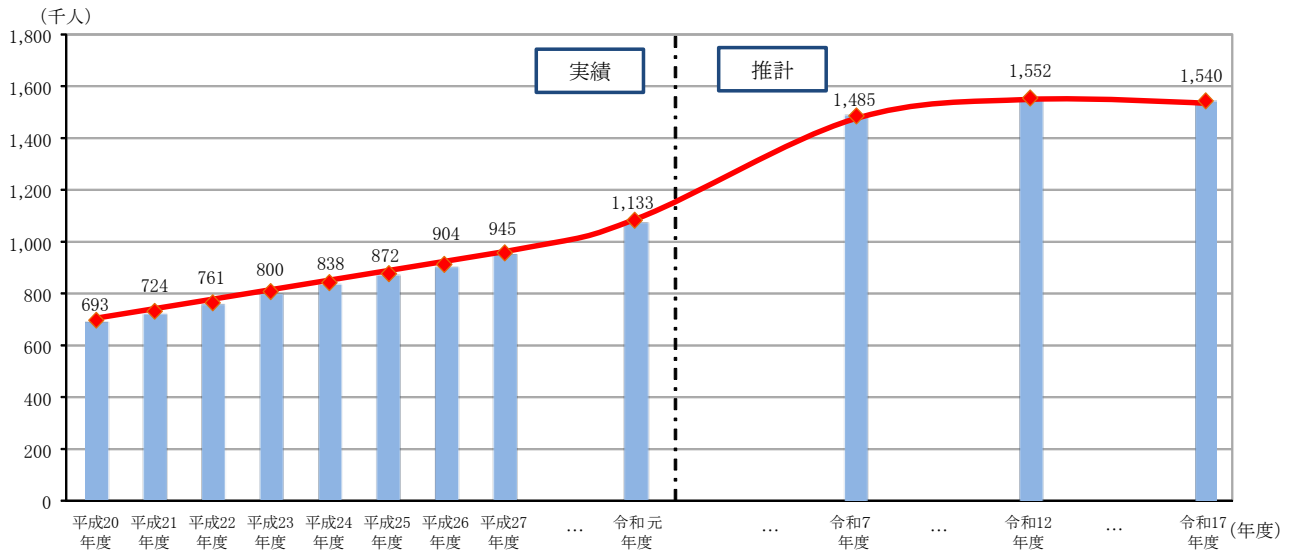
		一般	現役並み 所得者	低所得Ⅰ 該当者	低所得Ⅱ 該当者	被保険者数 合計
年齢階層	65歳～69歳	710	59	439	465	1,673
	70歳～74歳	1,307	85	664	975	3,031
	75歳～79歳	282,639	64,816	43,675	84,937	476,067
	80歳～84歳	187,842	36,850	50,649	62,194	337,535
	85歳～89歳	103,170	19,118	47,508	40,150	209,946
	90歳～94歳	39,142	7,684	29,738	16,410	92,974
	95歳～99歳	8,752	1,763	11,137	3,754	25,406
	100歳～	1,209	252	1,961	671	4,093
	計	624,771	130,627	185,771	209,556	1,150,725
被扶養者であった被保険者数		5,070	334	788	824	7,016

神奈川県後期高齢者医療広域連合 2020年3月現在集計結果

(3) 被保険者数の推移

被保険者数は、制度が開始された平成20年度は69万3千人でしたが、令和元年度には113万3千人となり、11年間で44万人（63.5%）増加しました。令和7年度には148万5千人となり、令和元年度の1.3倍を超え、その後も増加傾向は続く見込みです。

被保険者数推計



出典：『日本の将来推計人口（平成24年1月推計／出生中位・死亡中位）』国立社会保障・人口問題研究所
『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』国立社会保障・人口問題研究所
『後期高齢者医療事業年報 第2表都道府県別医療費の状況』厚生労働省
(注) 実績の被保険者数は、3月末～2月末における平均の被保険者数です。

(4) 死因に関する分析

75歳以上の死因順位を見ると、第1位は26.4%の悪性新生物（がん）、第2位は15.1%の心疾患（心臓病）、第3位は10.2%の老衰、第4位は7.5%の脳血管疾患（脳卒中）となり、およそ4人に1人は悪性新生物（がん）で死亡しています。心疾患（心臓病）、脳血管疾患（脳卒中）、肺炎、老衰の占める割合は、神奈川県全体と比較して、年齢が高くなるとともに多くなります。

死因別割合

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
神奈川県全体	悪性新生物 (29.2%)	心疾患 (高血圧性を除く) (14.9%)	老衰 (9.3%)	脳血管疾患 (7.4%)	肺炎 (6.1%)
うち75歳以上	悪性新生物 (26.4%)	心疾患 (高血圧性を除く) (15.1%)	老衰 (10.2%)	脳血管疾患 (7.5%)	肺炎 (7.2%)

出典：平成30神奈川県衛生統計年報統計表
(注) 割合は全死亡者に占める割合です。

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は次のとおりです。

(1) 健康診査事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

被保険者の生活習慣病を早期に発見し、重症化予防を図るため市町村が実施する健康診査の費用の一部を助成する。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率	26.0%	26.5%	27.0%以上

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率	25.24%	25.17%	25.10%
受診者数	234,109人	244,809人	256,892人

【平成29年度市町村別受診率分布（33市町村）】

	10%未満	10～19%	20～29%	30～39%	40～49%	50～59%
市町村数	2	5	8	11	6	1

【結果に対する考察】

受診者数は年々増加しているが、被保険者数が増加したことにより、受診率としては目標値に達しなかった。平成29年度の受診率を市町村別で見ると、53.30%から6.01%と大きな差があり、また、受診率が高い市町村ほど事業実施に係る費用負担が高くなる傾向がある。このことを踏まえ、各市町村が受診率向上に向けた取り組みを行いやすいよう、平成29年度に健康診査事業の補助基準について、一部改正を行った。今後より一層事業効果を高めるため、高齢者の特性を踏まえた健診項目の設定及びそれに則した市町村への補助基準の見直しを行い、県内全体として受診率向上に向けた取り組みが必要となる。

(2) 歯科健康診査事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、前年度75歳到達者を対象に県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率(%)	実施 ※事業実施初年度	27年度実績+0.5ポイント 4.15%	27年度実績+1.0ポイント 4.65%

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率(%)	3.65%	4.00%	3.99%
受診者数	3,085人	3,784人	4,115人

【結果に対する考察】

受診者数は年々増加しているが、被保険者数が増加し、事業実施対象者数も増加したことにより受診率としては目標値に達せず、その向上が課題となった。一方で、歯科健康診査を受診し、口腔内の異常が発見された要治療者の内、治療に結び付けることができたケースが約90%あり、歯科健診受診者に対しては一定の事業実施による効果を得ていることが確認できた。

このことから、本事業実施による更なる効果拡大のためには、口腔機能維持の重要性についての周知拡大、健診を受診できる医療機関の増加による被保険者の利便性向上等、歯科健診受診率向上に向けた取り組みが必要となる。また、事業実施対象者の拡大等についても、今後検討が必要とされる。

(3) 医療費通知事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

被保険者の健康に対する意識の向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。(年2回の送付のほか、被保険者から希望があった場合は、随時通知を送付。)

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施市町村数	33	33	33

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施市町村数	33	33	33

【結果に対する考察】

県内全域33市町村の被保険者に対し、医療費通知を送付し、被保険者の健康に対する意識の向上や、後期高齢者医療制度への理解を深めることができた。引き続き、今後も同目的において本事業を実施することが必要である。

確定申告(医療費控除)の手続きが改正され、平成29年分から一定の記載項目要件を満たした医療費通知が使用できることとなったため、同手続きに使用できるよう、記載項目の改定が必要となる。

通知の送付後、被保険者からの問い合わせが多くあるため、対応できるよう更なる体制整備が必要となる。

(4) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、同一疾病で医療機関への重複・頻回受診等が確認される被保険者を次の基準により選定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による訪問指導（原則2回）を行い、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。

（対象者の選定基準）

- ・ 重複受診者 3か月連続して1か月に同一疾病で医療機関を3か所以上受診している者
- ・ 頻回受診者 3か月連続して1か月に同一医療機関を15回以上受診している者
- ・ 重複投薬者 3か月連続して同一薬剤又は同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関から処方されている者（平成27年度から追加）

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問者数	30人	40人	50人

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問者数（訪問回数）	89人（121回）	47人（78回）	61人（103回）

【結果に対する考察】

訪問者数については目標値を達成することができたが、事業対象者に訪問指導を実施することや、2回の訪問指導を完了することが困難な状況であった。今後、更に本事業の実効性を向上させるためには、対象者の選定方法及びアプローチ方法等の見直しを図る必要がある。

(5) ジェネリック医薬品利用差額通知事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促し、医療費の適正化を図る。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通知数(通)	20,000通以上	30,000通以上	40,000通以上

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通知数(通)	19,971通	30,593通	40,173通

【結果に対する考察】

平成27年度については目標値をわずかに下回ったが、その後は目標値を達成することができた。今後も引き続き、本事業を実施するとともに、加えて、ジェネリック医薬品の安全性に係る普及啓発の実施及び被保険者の自己負担の軽減についてだけでなく、後期高齢者医療制度の安定化、保険料の抑制等に繋がることについても周知を図り、より一層の医療費適正化の推進が必要となる。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、神奈川県後期高齢者医療広域連合における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析します。

①市区町村別被保険者数

神奈川県後期高齢者医療広域連合における被保険者数を市区町村別に示します。

	市区町村	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月	被保険者数 ※ 6カ月平均(人)
1	横浜市鶴見区	28,763	28,860	28,898	28,957	29,016	29,064	28,926
2	横浜市神奈川区	25,850	25,918	25,937	25,962	25,999	26,004	25,945
3	横浜市西区	9,971	9,993	9,985	10,000	10,009	9,988	9,991
4	横浜市中区	15,137	15,211	15,186	15,232	15,232	15,226	15,204
5	横浜市南区	25,970	26,034	26,051	26,062	26,078	26,095	26,048
6	横浜市保土ヶ谷区	27,834	27,934	27,968	27,987	28,015	28,010	27,958
7	横浜市磯子区	23,414	23,456	23,487	23,524	23,574	23,602	23,510
8	横浜市金沢区	29,373	29,499	29,558	29,621	29,684	29,701	29,573
9	横浜市港北区	34,562	34,675	34,735	34,860	34,917	34,917	34,778
10	横浜市戸塚区	36,316	36,453	36,503	36,588	36,619	36,651	36,522
11	横浜市港南区	32,172	32,269	32,314	32,386	32,454	32,459	32,342
12	横浜市旭区	38,304	38,427	38,471	38,524	38,535	38,535	38,466
13	横浜市緑区	21,582	21,673	21,709	21,770	21,830	21,851	21,736
14	横浜市瀬谷区	17,973	18,037	18,072	18,108	18,112	18,115	18,070
15	横浜市栄区	20,105	20,211	20,240	20,288	20,321	20,392	20,260
16	横浜市泉区	22,256	22,346	22,361	22,410	22,420	22,447	22,373
17	横浜市青葉区	32,232	32,387	32,472	32,585	32,658	32,731	32,511
18	横浜市都筑区	17,977	18,049	18,103	18,163	18,216	18,260	18,128
19	川崎市川崎区	23,239	23,327	23,355	23,394	23,385	23,390	23,348
20	川崎市幸区	17,606	17,646	17,670	17,703	17,695	17,693	17,669
21	川崎市中原区	19,205	19,248	19,261	19,286	19,307	19,311	19,270
22	川崎市高津区	19,737	19,816	19,838	19,915	19,970	20,005	19,880
23	川崎市多摩区	20,539	20,615	20,632	20,685	20,713	20,755	20,657
24	川崎市宮前区	22,651	22,735	22,813	22,893	22,939	22,929	22,827
25	川崎市麻生区	20,865	20,926	21,004	21,053	21,084	21,092	21,004
26	相模原市緑区	21,372	21,476	21,539	21,610	21,658	21,686	21,557
27	相模原市中央区	31,869	32,016	32,103	32,216	32,270	32,339	32,136
28	相模原市南区	36,034	36,188	36,290	36,396	36,447	36,465	36,303

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※被保険者数…分析期間内で異動が発生した場合、市区町村毎の集計は診療月時点の市区町村それぞれに被保険者数を集計。広域連合全体は実人数を集計。そのため、市区町村毎の被保険者数を合計した結果と、広域連合全体の被保険者数は一致しない。

	市区町村	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月	被保険者数 ※ 6カ月平均(人)
29	横須賀市	66,295	66,543	66,603	66,746	66,805	66,839	66,639
30	平塚市	35,326	35,471	35,510	35,570	35,660	35,660	35,533
31	鎌倉市	30,649	30,745	30,749	30,803	30,823	30,820	30,765
32	藤沢市	54,092	54,272	54,341	54,461	54,520	54,558	54,374
33	小田原市	28,490	28,568	28,564	28,653	28,647	28,617	28,590
34	茅ヶ崎市	32,998	33,117	33,198	33,292	33,355	33,409	33,228
35	逗子市	10,664	10,703	10,733	10,727	10,738	10,735	10,717
36	三浦市	8,697	8,720	8,717	8,713	8,706	8,692	8,708
37	秦野市	22,312	22,422	22,471	22,523	22,574	22,611	22,486
38	厚木市	26,267	26,416	26,493	26,570	26,637	26,661	26,507
39	大和市	28,022	28,162	28,204	28,319	28,373	28,409	28,248
40	伊勢原市	12,903	12,966	12,996	13,024	13,027	13,042	12,993
41	海老名市	15,775	15,885	15,937	15,989	16,047	16,080	15,952
42	座間市	16,032	16,109	16,177	16,251	16,272	16,286	16,188
43	南足柄市	6,998	7,039	7,044	7,065	7,069	7,071	7,048
44	綾瀬市	11,357	11,427	11,447	11,484	11,523	11,560	11,466
45	葉山町	5,643	5,657	5,662	5,677	5,703	5,701	5,674
46	寒川町	6,175	6,214	6,241	6,254	6,278	6,286	6,241
47	大磯町	5,636	5,664	5,683	5,679	5,684	5,699	5,674
48	二宮町	5,301	5,323	5,325	5,344	5,343	5,363	5,333
49	中井町	1,480	1,484	1,486	1,494	1,498	1,504	1,491
50	大井町	2,335	2,353	2,346	2,354	2,359	2,362	2,352
51	松田町	1,910	1,914	1,910	1,914	1,916	1,916	1,913
52	山北町	1,983	1,980	1,983	1,995	1,995	1,989	1,988
53	開成町	2,273	2,282	2,282	2,279	2,274	2,283	2,279
54	箱根町	2,069	2,077	2,080	2,087	2,090	2,097	2,083
55	真鶴町	1,572	1,576	1,581	1,589	1,586	1,588	1,582
56	湯河原町	5,169	5,179	5,184	5,189	5,188	5,185	5,182
57	愛川町	5,285	5,313	5,320	5,336	5,346	5,361	5,327
58	清川村	461	464	465	465	465	467	465
	広域連合全体	1,147,077	1,151,470	1,153,287	1,156,024	1,157,658	1,158,564	1,154,013

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※被保険者数…分析期間内で異動が発生した場合、市区町村毎の集計は診療月時点の市区町村それぞれに被保険者数を集計。広域連合全体は実人数を集計。そのため、市区町村毎の被保険者数を合計した結果と、広域連合全体の被保険者数は一致しない。

②基礎統計

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)における、被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りです。被保険者数は平均1,154,013人、レセプト件数は平均2,630,775件、患者数は平均908,217人となりました。また、患者一人当たりの医療費は平均80,021円となりました。

基礎統計

		令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月	6カ月平均	6カ月合計	
A	被保険者数(人)	1,147,077	1,151,470	1,153,287	1,156,024	1,157,658	1,158,564	1,154,013		
B	レセプト件数(件)	入院外	1,570,556	1,488,964	1,466,535	1,458,383	1,340,275	1,286,525	1,435,206	8,611,238
		入院	59,490	58,274	57,913	56,708	50,491	46,135	54,835	329,011
		調剤	1,231,521	1,160,821	1,149,442	1,161,345	1,099,731	1,041,538	1,140,733	6,844,398
		合計	2,861,567	2,708,059	2,673,890	2,676,436	2,490,497	2,374,198	2,630,775	15,784,647
C	医療費(円) ※	78,398,778,960	75,936,553,110	72,776,435,460	75,785,484,560	69,322,443,330	63,840,268,220	72,676,660,607	436,059,963,640	
D	患者数(人) ※	942,251	924,380	916,811	917,065	889,250	859,546	908,217	5,449,303	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	68,347	65,947	63,103	65,557	59,882	55,103	62,977		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	27,397	28,041	27,217	28,316	27,835	26,889	27,626		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	83,204	82,149	79,380	82,639	77,956	74,272	80,021		
B/A	受診率(%)	249.5%	235.2%	231.8%	231.5%	215.1%	204.9%	228.0%		
D/A	有病率(%)	82.1%	80.3%	79.5%	79.3%	76.8%	74.2%	78.7%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

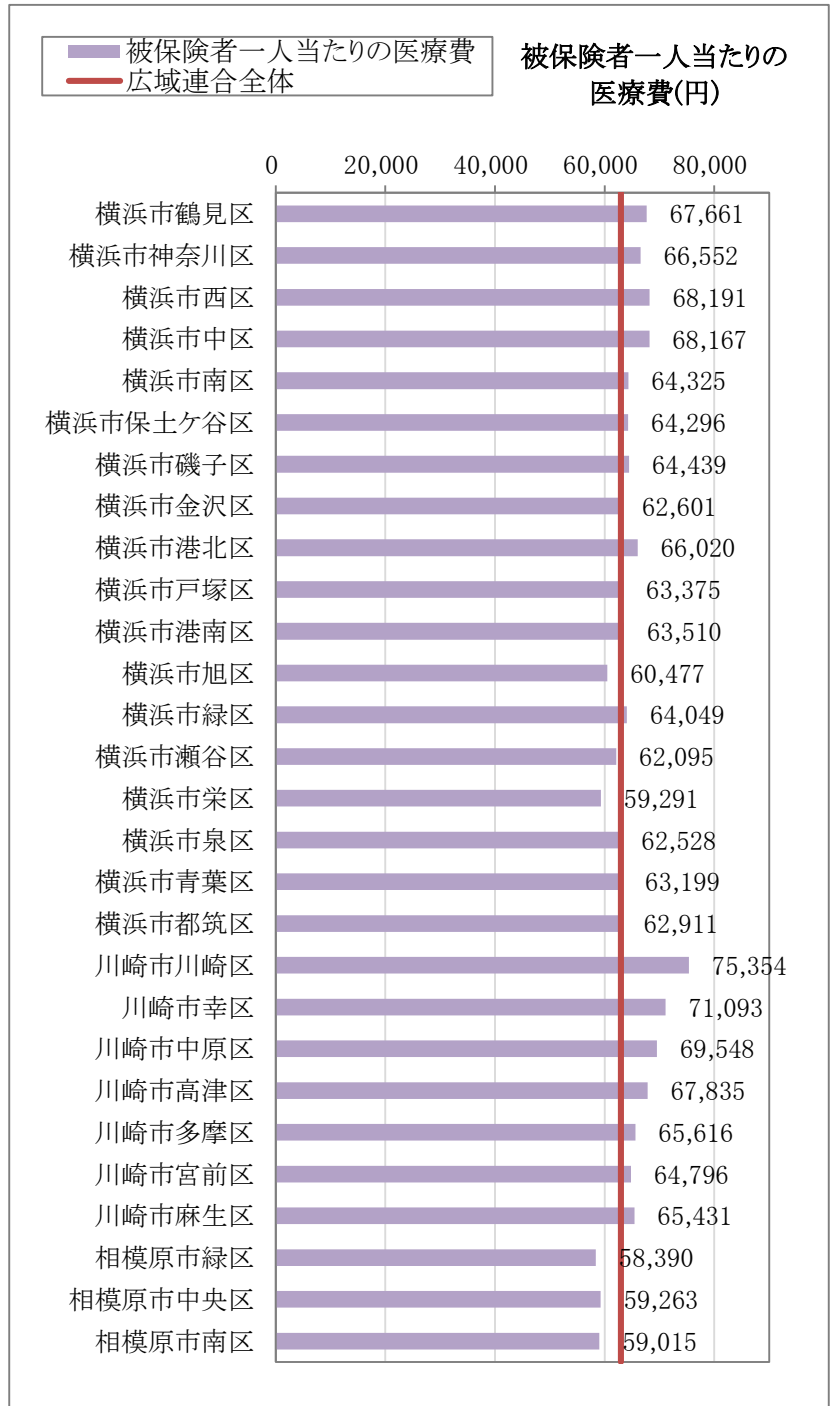
【このページは空白です】

③市区町村別医療費

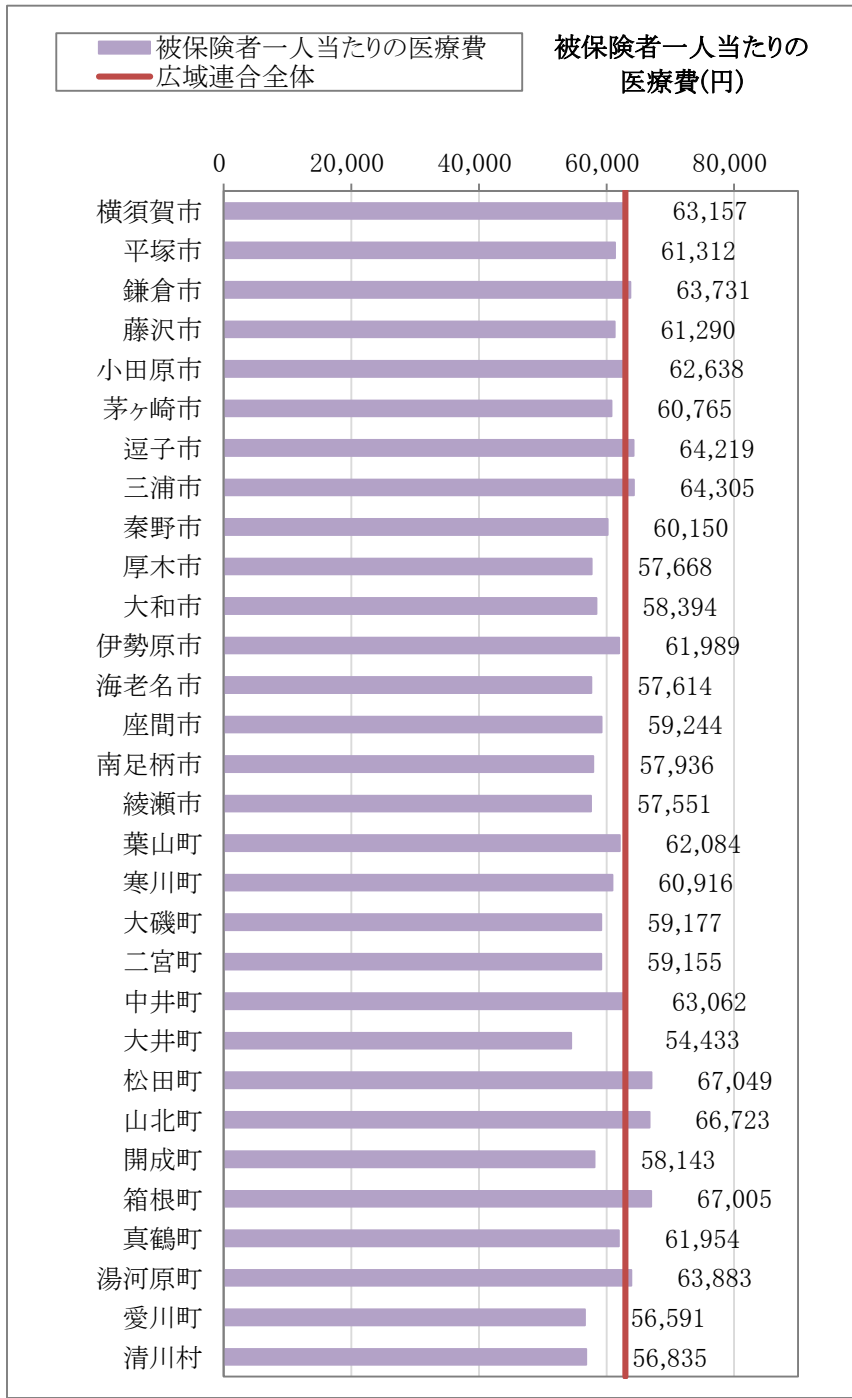
令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)における、被保険者一人当たりの医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 被保険者一人当たりの医療費

	市区町村	被保険者一人当たりの医療費 ※ 6カ月平均(円)
1	横浜市鶴見区	67,661
2	横浜市神奈川区	66,552
3	横浜市西区	68,191
4	横浜市中区	68,167
5	横浜市南区	64,325
6	横浜市保土ヶ谷区	64,296
7	横浜市磯子区	64,439
8	横浜市金沢区	62,601
9	横浜市港北区	66,020
10	横浜市戸塚区	63,375
11	横浜市港南区	63,510
12	横浜市旭区	60,477
13	横浜市緑区	64,049
14	横浜市瀬谷区	62,095
15	横浜市栄区	59,291
16	横浜市泉区	62,528
17	横浜市青葉区	63,199
18	横浜市都筑区	62,911
19	川崎市川崎区	75,354
20	川崎市幸区	71,093
21	川崎市中原区	69,548
22	川崎市高津区	67,835
23	川崎市多摩区	65,616
24	川崎市宮前区	64,796
25	川崎市麻生区	65,431
26	相模原市緑区	58,390
27	相模原市中央区	59,263
28	相模原市南区	59,015



	市区町村	被保険者一人当たりの医療費 ※ 6カ月平均(円)
29	横須賀市	63,157
30	平塚市	61,312
31	鎌倉市	63,731
32	藤沢市	61,290
33	小田原市	62,638
34	茅ヶ崎市	60,765
35	逗子市	64,219
36	三浦市	64,305
37	秦野市	60,150
38	厚木市	57,668
39	大和市	58,394
40	伊勢原市	61,989
41	海老名市	57,614
42	座間市	59,244
43	南足柄市	57,936
44	綾瀬市	57,551
45	葉山町	62,084
46	寒川町	60,916
47	大磯町	59,177
48	二宮町	59,155
49	中井町	63,062
50	大井町	54,433
51	松田町	67,049
52	山北町	66,723
53	開成町	58,143
54	箱根町	67,005
55	真鶴町	61,954
56	湯河原町	63,883
57	愛川町	56,591
58	清川村	56,835
	広域連合全体	62,977



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

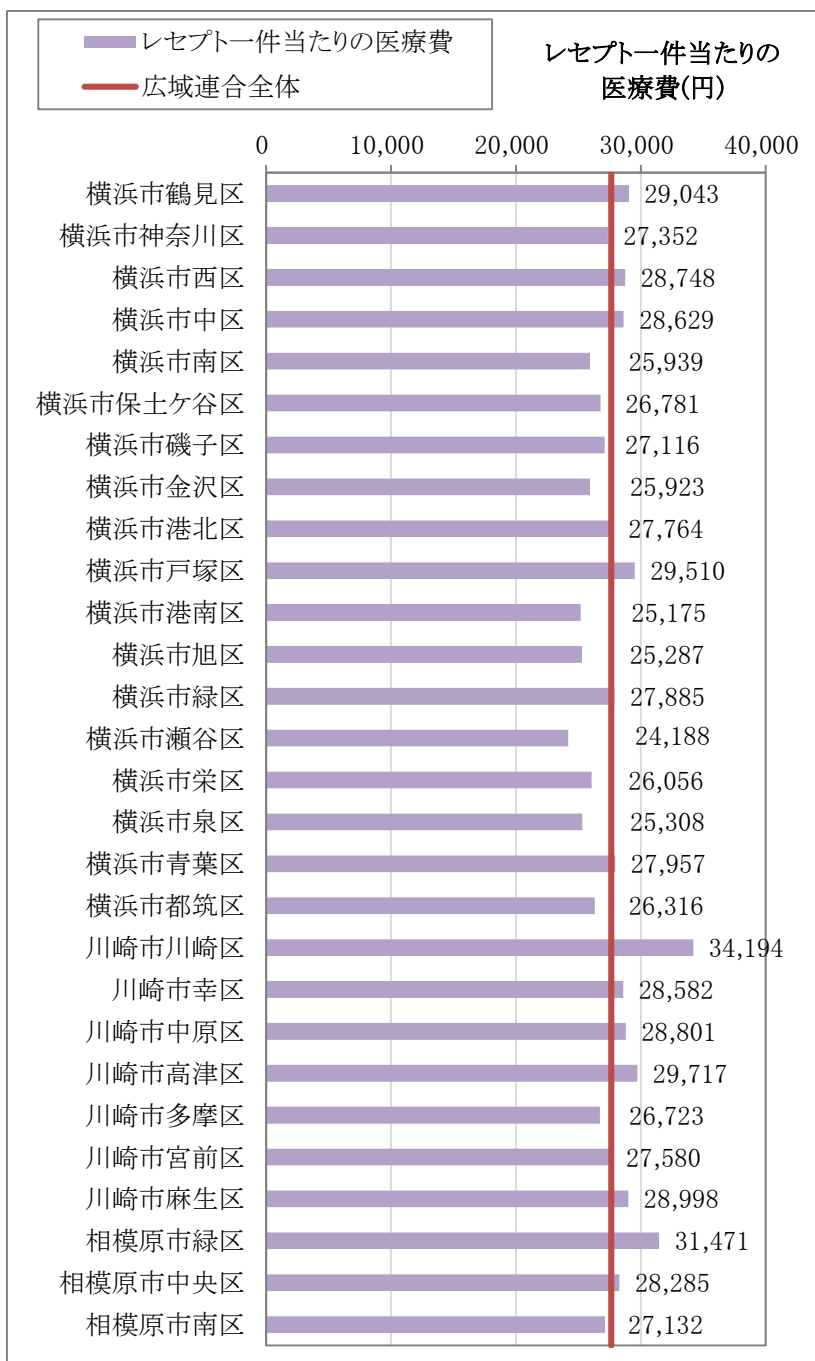
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※被保険者一人当たりの医療費…分析期間内で異動が発生した場合、市区町村毎の集計は診療月時点の市区町村それぞれに被保険者数を集計。広域連合全体は実人数を集計。上記、被保険者数を用いて被保険者一人当たりの医療費を算出するため、市区町村毎の被保険者一人当たりの医療費を合計した結果と、広域連合全体の被保険者一人当たりの医療費は一致しない。

レセプト一件当たりの医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 レセプト一件当たりの医療費

	市区町村	レセプト一件当たりの 医療費 ※ 6カ月平均(円)
1	横浜市鶴見区	29,043
2	横浜市神奈川区	27,352
3	横浜市西区	28,748
4	横浜市中区	28,629
5	横浜市南区	25,939
6	横浜市保土ヶ谷区	26,781
7	横浜市磯子区	27,116
8	横浜市金沢区	25,923
9	横浜市港北区	27,764
10	横浜市戸塚区	29,510
11	横浜市港南区	25,175
12	横浜市旭区	25,287
13	横浜市緑区	27,885
14	横浜市瀬谷区	24,188
15	横浜市栄区	26,056
16	横浜市泉区	25,308
17	横浜市青葉区	27,957
18	横浜市都筑区	26,316
19	川崎市川崎区	34,194
20	川崎市幸区	28,582
21	川崎市中原区	28,801
22	川崎市高津区	29,717
23	川崎市多摩区	26,723
24	川崎市宮前区	27,580
25	川崎市麻生区	28,998
26	相模原市緑区	31,471
27	相模原市中央区	28,285
28	相模原市南区	27,132



市区町村	レセプト一件当たりの医療費 ※ 6カ月平均(円)
29 横須賀市	25,809
30 平塚市	28,259
31 鎌倉市	28,500
32 藤沢市	25,767
33 小田原市	28,007
34 茅ヶ崎市	27,044
35 逗子市	27,018
36 三浦市	29,711
37 秦野市	30,008
38 厚木市	28,457
39 大和市	26,989
40 伊勢原市	29,532
41 海老名市	32,133
42 座間市	28,709
43 南足柄市	26,055
44 綾瀬市	31,237
45 葉山町	27,463
46 寒川町	32,100
47 大磯町	27,533
48 二宮町	27,761
49 中井町	30,836
50 大井町	25,910
51 松田町	31,726
52 山北町	30,227
53 開成町	24,806
54 箱根町	34,294
55 真鶴町	31,562
56 湯河原町	30,300
57 愛川町	28,124
58 清川村	34,563
広域連合全体	27,626



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

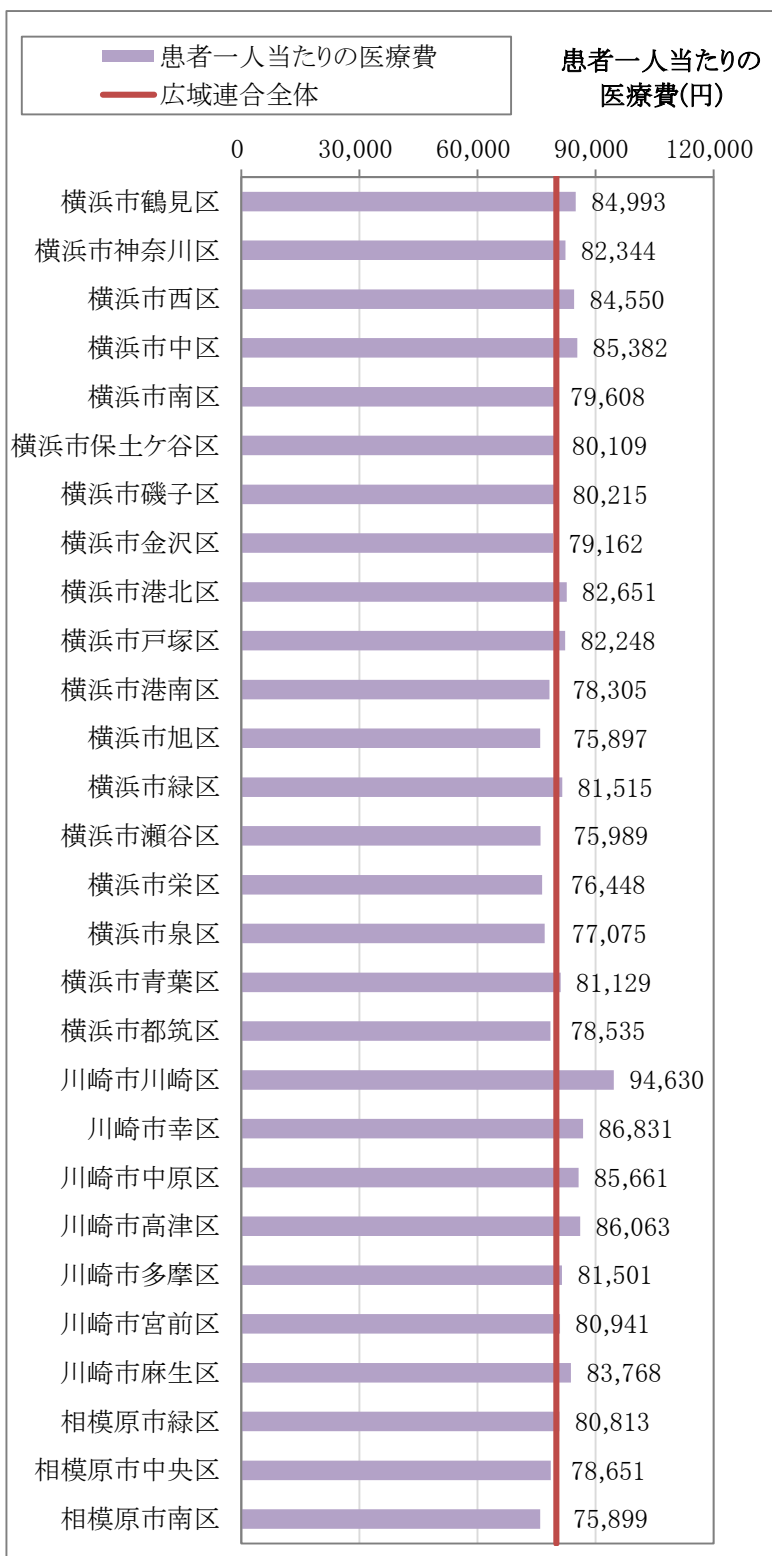
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※レセプト一件当たりの医療費…分析期間中の医療費とレセプト件数からレセプト一件当たりの医療費を算出。市区町村毎に算出するため、広域連合全体と縦の平均は一致しない。

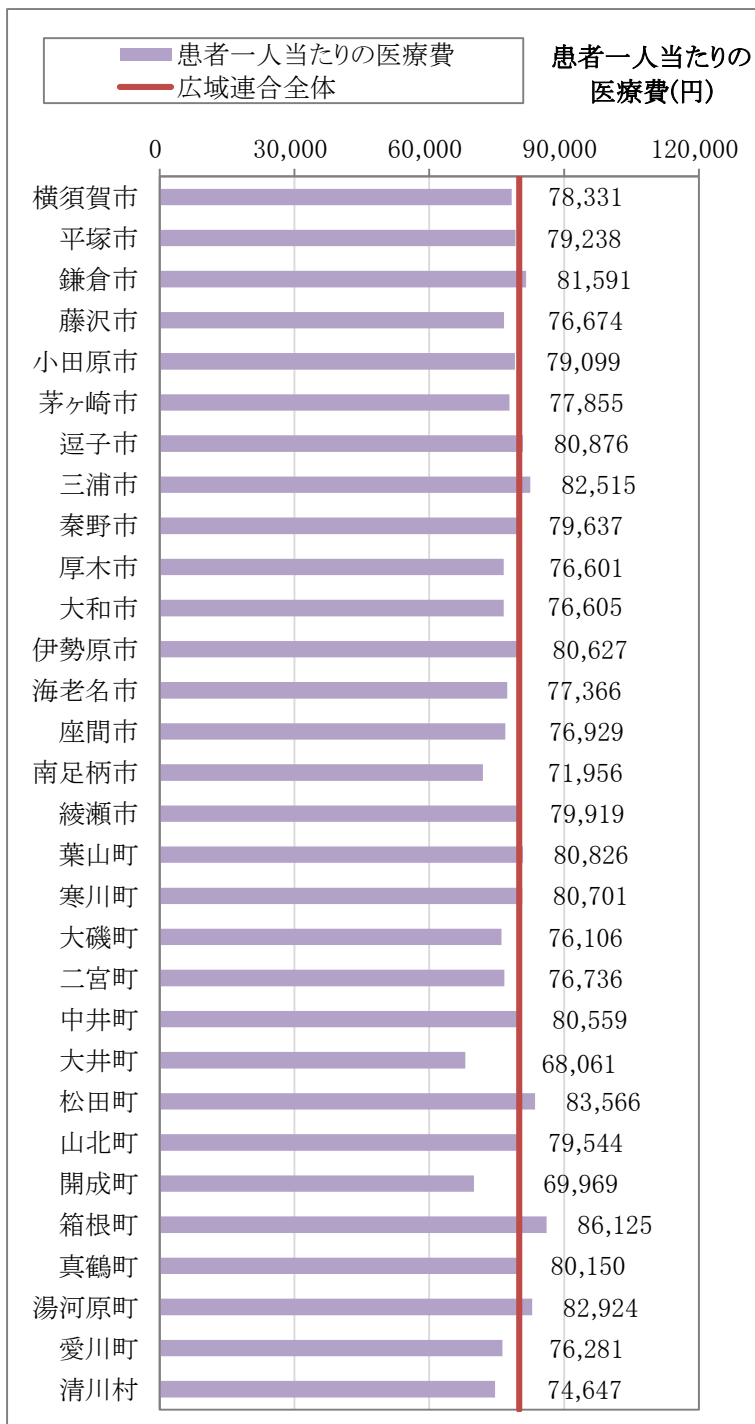
患者一人当たりの医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 患者一人当たりの医療費

	市区町村	患者一人当たりの医療費 ※ 6カ月平均(円)
1	横浜市鶴見区	84,993
2	横浜市神奈川区	82,344
3	横浜市西区	84,550
4	横浜市中区	85,382
5	横浜市南区	79,608
6	横浜市保土ヶ谷区	80,109
7	横浜市磯子区	80,215
8	横浜市金沢区	79,162
9	横浜市港北区	82,651
10	横浜市戸塚区	82,248
11	横浜市港南区	78,305
12	横浜市旭区	75,897
13	横浜市緑区	81,515
14	横浜市瀬谷区	75,989
15	横浜市栄区	76,448
16	横浜市泉区	77,075
17	横浜市青葉区	81,129
18	横浜市都筑区	78,535
19	川崎市川崎区	94,630
20	川崎市幸区	86,831
21	川崎市中原区	85,661
22	川崎市高津区	86,063
23	川崎市多摩区	81,501
24	川崎市宮前区	80,941
25	川崎市麻生区	83,768
26	相模原市緑区	80,813
27	相模原市中央区	78,651
28	相模原市南区	75,899



	市区町村	患者一人当たりの 医療費 ※ 6カ月平均(円)
29	横須賀市	78,331
30	平塚市	79,238
31	鎌倉市	81,591
32	藤沢市	76,674
33	小田原市	79,099
34	茅ヶ崎市	77,855
35	逗子市	80,876
36	三浦市	82,515
37	秦野市	79,637
38	厚木市	76,601
39	大和市	76,605
40	伊勢原市	80,627
41	海老名市	77,366
42	座間市	76,929
43	南足柄市	71,956
44	綾瀬市	79,919
45	葉山町	80,826
46	寒川町	80,701
47	大磯町	76,106
48	二宮町	76,736
49	中井町	80,559
50	大井町	68,061
51	松田町	83,566
52	山北町	79,544
53	開成町	69,969
54	箱根町	86,125
55	真鶴町	80,150
56	湯河原町	82,924
57	愛川町	76,281
58	清川村	74,647
	広域連合全体	80,021



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者一人当たりの医療費…分析期間中の医療費と患者数から患者一人当たりの医療費を算出。市区町村毎に算出するため広域連合全体と縦の平均は一致しない。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは月間平均28,866件発生しており、レセプト件数全体の1.1%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均277億4,867万円程度となり、医療費全体の38.2%を占めます。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月	6カ月平均	6カ月合計
A	レセプト件数(件)	2,861,567	2,708,059	2,673,890	2,676,436	2,490,497	2,374,198	2,630,775	15,784,647
B	高額レセプト件数(件)	30,548	30,981	28,756	30,062	27,156	25,694	28,866	173,197
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	
C	医療費全体(円) ※	78,398,778,960	75,936,553,110	72,776,435,460	75,785,484,560	69,322,443,330	63,840,268,220	72,676,660,607	436,059,963,640
D	高額レセプトの医療費(円) ※	29,860,384,500	29,792,900,510	27,386,766,780	29,327,388,830	26,042,825,780	24,081,760,600	27,748,671,167	166,492,027,000
E	その他レセプトの医療費(円) ※	48,538,394,460	46,143,652,600	45,389,668,680	46,458,095,730	43,279,617,550	39,758,507,620	44,927,989,440	269,567,936,640
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	38.1%	39.2%	37.6%	38.7%	37.6%	37.7%	38.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

【このページは空白です】

②市区町村別高額レセプトの件数及び割合

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)における、高額レセプトの件数及び医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

	市区町村	A	B	B/A	C	D		E	D/C
		レセプト件数 (件)	高額レセプト 件数(件)	総レセプト 件数に 占める高額 レセプトの 割合(%)		医療費全体 (円) ※	高額レセプトの 医療費(円) ※		
1	横浜市鶴見区	404,337	4,794	1.2%	11,743,166,950	4,689,901,300	7,053,265,650	39.9%	
2	横浜市神奈川区	378,773	4,265	1.1%	10,360,192,210	4,046,416,280	6,313,775,930	39.1%	
3	横浜市西区	142,192	1,626	1.1%	4,087,749,900	1,562,478,010	2,525,271,890	38.2%	
4	横浜市中区	217,205	2,376	1.1%	6,218,435,260	2,397,299,370	3,821,135,890	38.6%	
5	横浜市南区	387,573	3,803	1.0%	10,053,343,390	3,694,253,270	6,359,090,120	36.7%	
6	横浜市保土ヶ谷区	402,724	4,163	1.0%	10,785,473,710	4,107,637,280	6,677,836,430	38.1%	
7	横浜市磯子区	335,215	3,472	1.0%	9,089,543,300	3,409,280,640	5,680,262,660	37.5%	
8	横浜市金沢区	428,479	4,435	1.0%	11,107,649,940	4,241,238,290	6,866,411,650	38.2%	
9	横浜市港北区	496,188	5,611	1.1%	13,776,028,170	5,458,635,460	8,317,392,710	39.6%	
10	横浜市戸塚区	470,601	5,633	1.2%	13,887,390,750	5,665,858,260	8,221,532,490	40.8%	
11	横浜市港南区	489,545	4,539	0.9%	12,324,322,720	4,413,096,920	7,911,225,800	35.8%	
12	横浜市旭区	551,974	5,151	0.9%	13,957,770,000	5,082,818,180	8,874,951,820	36.4%	
13	横浜市緑区	299,552	3,398	1.1%	8,352,910,630	3,343,199,780	5,009,710,850	40.0%	
14	横浜市瀬谷区	278,324	2,464	0.9%	6,732,157,910	2,391,930,640	4,340,227,270	35.5%	
15	横浜市栄区	276,603	2,576	0.9%	7,207,236,550	2,619,829,530	4,587,407,020	36.3%	
16	横浜市泉区	331,663	3,177	1.0%	8,393,811,300	3,161,922,660	5,231,888,640	37.7%	
17	横浜市青葉区	440,953	4,843	1.1%	12,327,935,480	4,686,539,220	7,641,396,260	38.0%	
18	横浜市都筑区	260,020	2,511	1.0%	6,842,729,930	2,425,309,120	4,417,420,810	35.4%	
19	川崎市川崎区	308,720	4,885	1.6%	10,556,339,700	4,695,962,210	5,860,377,490	44.5%	
20	川崎市幸区	263,693	2,984	1.1%	7,536,817,400	2,971,477,930	4,565,339,470	39.4%	
21	川崎市中原区	279,187	3,222	1.2%	8,040,991,960	3,168,578,040	4,872,413,920	39.4%	
22	川崎市高津区	272,285	3,268	1.2%	8,091,457,750	3,118,210,810	4,973,246,940	38.5%	
23	川崎市多摩区	304,318	3,386	1.1%	8,132,400,170	3,145,758,190	4,986,641,980	38.7%	
24	川崎市宮前区	321,771	3,330	1.0%	8,874,439,530	3,228,226,060	5,646,213,470	36.4%	
25	川崎市麻生区	284,363	3,527	1.2%	8,245,822,640	3,377,115,400	4,868,707,240	41.0%	
26	相模原市緑区	239,970	3,213	1.3%	7,552,166,400	2,958,960,740	4,593,205,660	39.2%	
27	相模原市中央区	403,987	4,588	1.1%	11,426,704,930	4,286,134,350	7,140,570,580	37.5%	
28	相模原市南区	473,787	5,077	1.1%	12,854,710,970	4,735,643,200	8,119,067,770	36.8%	

	市区町村	A	B	B/A	C	D	E	D/C
		レセプト件数 (件)	高額レセプト 件数(件)	総レセプト 件数に 占める高額 レセプトの 割合(%)	医療費全体 (円) ※	高額レセプトの 医療費(円) ※	その他レセプトの 医療費(円) ※	
29	横須賀市	978,409	9,207	0.9%	25,252,196,150	9,159,585,280	16,092,610,870	36.3%
30	平塚市	462,557	5,642	1.2%	13,071,582,640	5,126,558,460	7,945,024,180	39.2%
31	鎌倉市	412,772	4,592	1.1%	11,764,071,630	4,547,194,090	7,216,877,540	38.7%
32	藤沢市	776,023	7,685	1.0%	19,995,629,450	7,204,244,150	12,791,385,300	36.0%
33	小田原市	383,655	4,220	1.1%	10,744,873,630	3,908,361,200	6,836,512,430	36.4%
34	茅ヶ崎市	447,954	4,895	1.1%	12,114,678,590	4,645,137,430	7,469,541,160	38.3%
35	逗子市	152,837	1,584	1.0%	4,129,275,650	1,559,637,800	2,569,637,850	37.8%
36	三浦市	113,075	1,389	1.2%	3,359,615,450	1,254,168,200	2,105,447,250	37.3%
37	秦野市	270,426	3,414	1.3%	8,115,071,480	3,219,552,610	4,895,518,870	39.7%
38	厚木市	322,305	3,553	1.1%	9,171,826,230	3,378,348,790	5,793,477,440	36.8%
39	大和市	366,716	4,024	1.1%	9,897,129,630	3,797,620,820	6,099,508,810	38.4%
40	伊勢原市	163,640	2,034	1.2%	4,832,548,290	1,958,161,610	2,874,386,680	40.5%
41	海老名市	171,612	2,314	1.3%	5,514,422,500	2,179,479,590	3,334,942,910	39.5%
42	座間市	200,428	2,387	1.2%	5,754,176,200	2,195,653,280	3,558,522,920	38.2%
43	南足柄市	94,026	913	1.0%	2,449,884,730	893,181,990	1,556,702,740	36.5%
44	綾瀬市	126,751	1,686	1.3%	3,959,363,080	1,593,088,690	2,366,274,390	40.2%
45	葉山町	76,960	790	1.0%	2,113,529,180	834,341,200	1,279,187,980	39.5%
46	寒川町	71,065	1,021	1.4%	2,281,170,780	896,786,790	1,384,383,990	39.3%
47	大磯町	73,173	915	1.3%	2,014,679,050	801,764,420	1,212,914,630	39.8%
48	二宮町	68,186	748	1.1%	1,892,911,410	701,297,420	1,191,613,990	37.0%
49	中井町	18,295	249	1.4%	564,152,800	218,760,710	345,392,090	38.8%
50	大井町	29,641	314	1.1%	768,001,380	283,397,330	484,604,050	36.9%
51	松田町	24,262	353	1.5%	769,727,650	332,447,620	437,280,030	43.2%
52	山北町	26,323	321	1.2%	795,677,340	297,542,300	498,135,040	37.4%
53	開成町	32,048	314	1.0%	794,984,940	277,033,540	517,951,400	34.8%
54	箱根町	24,423	388	1.6%	837,564,130	352,361,440	485,202,690	42.1%
55	真鶴町	18,632	233	1.3%	588,063,010	240,068,690	347,994,320	40.8%
56	湯河原町	65,557	853	1.3%	1,986,364,110	762,310,550	1,224,053,560	38.4%
57	愛川町	64,311	775	1.2%	1,808,693,010	734,848,760	1,073,844,250	40.6%
58	清川村	4,583	67	1.5%	158,399,970	55,381,100	103,018,870	35.0%
	広域連合全体	15,784,647	173,197	1.1%	436,059,963,640	166,492,027,000	269,567,936,640	38.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

③高額レセプト発生患者の疾病傾向

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下の通り示します。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計しました。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「くも膜下出血」「その他の脊柱障害」「白血病」等です。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0904	くも膜下出血	くも膜下出血, くも膜下出血後遺症, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	316	1,312,462,510	18,542,130	1,331,004,640	4,212,040
2	1307	その他の脊柱障害	腰椎変性すべり症, 腰椎すべり症, 変性側弯症	137	477,372,100	40,051,430	517,423,530	3,776,814
3	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 急性骨髄性白血病, 慢性リンパ性白血病	308	695,214,430	462,389,150	1,157,603,580	3,758,453
4	0604	脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	片麻痺, 四肢麻痺, 不全麻痺	142	506,349,730	8,298,060	514,647,790	3,624,280
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	3,123	6,928,321,200	3,842,420,080	10,770,741,280	3,448,844
6	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 急性大動脈解離StanfordB	1,380	4,354,890,880	389,833,010	4,744,723,890	3,438,206
7	0108	感染症及び寄生虫症の 続発・後遺症	陳旧性肺結核	2	6,021,460	618,430	6,639,890	3,319,945
8	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫, B細胞性非ホジキンリンパ腫	693	1,604,225,320	679,846,350	2,284,071,670	3,295,919
9	0905	脳内出血	視床出血, 脳皮質下出血, 脳出血	1,528	4,802,636,950	138,389,750	4,941,026,700	3,233,656
10	0507	その他の精神及び行動 の障害	高次脳機能障害, 摂食障害, 器質性精神障害	181	565,855,940	12,511,660	578,367,600	3,195,401
11	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎硬変	189	90,516,780	512,011,010	602,527,790	3,187,978
12	0302	その他の血液及び造血器 の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 特発性血小板減少性紫斑病, 出血傾向	470	1,065,935,460	373,755,930	1,439,691,390	3,063,173
13	2106	その他の理由による 保健サービスの利用者	胃瘻造設状態, 気管切開術後, 人工股関節置換術後	179	524,878,820	11,303,710	536,182,530	2,995,433
14	0205	気管, 気管支及び肺の 悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	2,417	3,252,600,030	3,874,478,570	7,127,078,600	2,948,729
15	1903	熱傷及び腐食	気道熱傷, 多発性第3度熱傷, 下肢第3度熱傷	41	112,132,850	8,169,320	120,302,170	2,934,199
16	2220	その他の特殊目的用コード	COVID-19	5	11,776,770	2,863,470	14,640,240	2,928,048
17	1108	慢性肝炎(アルコール性 のものを除く)	慢性肝炎	1	2,916,670	7,360	2,924,030	2,924,030
18	0301	貧血	貧血, 鉄欠乏性貧血, 再生不良性貧血	479	841,759,060	515,886,710	1,357,645,770	2,834,334
19	0906	脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞	5,382	14,155,836,560	695,426,670	14,851,263,230	2,759,432
20	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症, 神経調節性失神, 自律神経障害	51	132,834,600	7,511,450	140,346,050	2,751,883

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示します。患者数が多い疾病は「骨折」「その他の心疾患」「その他の悪性新生物<腫瘍>」等です。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 腰椎圧迫骨折	10,222	21,666,047,650	1,846,938,370	23,512,986,020	2,300,233
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 大動脈弁狭窄症	7,350	16,474,032,640	2,458,040,100	18,932,072,740	2,575,792
3	0210	その他の悪性新生物 <腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 多発性骨髄腫	6,566	8,825,686,350	7,309,757,760	16,135,444,110	2,457,424
4	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 間質性肺炎, 特異性間質性肺炎	5,405	9,121,523,110	1,607,665,790	10,729,188,900	1,985,049
5	0906	脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞	5,382	14,155,836,560	695,426,670	14,851,263,230	2,759,432
6	1113	その他の消化器系の疾患	絞扼性イレウス, 癒着性イレウス, 術後癒着性イレウス	3,337	4,762,992,910	852,143,270	5,615,136,180	1,682,690
7	1004	肺炎	肺炎, 細菌性肺炎, 急性肺炎	3,281	4,860,692,980	659,062,760	5,519,755,740	1,682,339
8	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	3,123	6,928,321,200	3,842,420,080	10,770,741,280	3,448,844
9	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	3,100	5,881,896,250	983,585,500	6,865,481,750	2,214,672
10	1310	その他の筋骨格系及び 結合組織の疾患	廃用症候群, 横紋筋融解, 人工股関節周囲骨折	2,901	6,372,351,480	420,010,140	6,792,361,620	2,341,386
11	0205	気管, 気管支及び肺の 悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	2,417	3,252,600,030	3,874,478,570	7,127,078,600	2,948,729
12	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 変形性腰椎症	1,957	4,629,369,100	479,280,060	5,108,649,160	2,610,449
13	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆管炎, 総胆管結石, 急性胆のう炎	1,857	2,373,417,830	423,319,140	2,796,736,970	1,506,051
14	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 原発性膝関節症	1,738	3,806,339,290	410,694,230	4,217,033,520	2,426,371
15	0202	結腸の悪性新生物 <腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 横行結腸癌	1,708	2,960,414,740	831,465,310	3,791,880,050	2,220,070
16	0201	胃の悪性新生物 <腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃前庭部癌	1,689	2,596,293,270	972,334,270	3,568,627,540	2,112,864
17	0905	脳内出血	視床出血, 脳皮質下出血, 脳出血	1,528	4,802,636,950	138,389,750	4,941,026,700	3,233,656
18	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 急性大動脈解離StanfordB	1,380	4,354,890,880	389,833,010	4,744,723,890	3,438,206
19	0606	その他の神経系の疾患	正常圧水頭症, レビー小体型認知症, 不眠症	1,210	2,918,199,960	342,339,520	3,260,539,480	2,694,661
20	1905	その他の損傷及び その他の外因の影響	ペースメーカー電池消耗, 頸髄損傷, 肩腱板断裂	1,106	2,073,146,180	280,763,150	2,353,909,330	2,128,309

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

① 大分類による疾病別医療費統計

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「循環器系の疾患」が医療費合計の20.9%を占めています。「新生物<腫瘍>」は医療費合計の11.5%、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は医療費合計の11.4%と高い割合を占めています。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「新生物<腫瘍>」「損傷、中毒及びその他の外因の影響」等です。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,747,488,559	1.6%	14	925,259	14	245,722	13	27,460	13
II. 新生物<腫瘍>	50,015,886,105	11.5%	2	1,199,485	12	322,869	11	154,911	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,939,196,723	1.1%	15	616,215	16	155,426	16	31,778	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	31,099,328,595	7.2%	6	5,743,006	2	747,649	2	41,596	10
V. 精神及び行動の障害	11,293,703,461	2.6%	11	1,265,197	11	184,703	15	61,145	7
VI. 神経系の疾患	29,564,718,765	6.8%	8	3,620,567	5	453,927	6	65,131	6
VII. 眼及び付属器の疾患	17,800,165,009	4.1%	10	1,989,701	9	451,782	7	39,400	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,209,184,975	0.3%	17	313,236	17	89,597	17	13,496	16
IX. 循環器系の疾患	90,725,850,634	20.9%	1	7,384,776	1	863,942	1	105,014	3
X. 呼吸器系の疾患	30,070,749,165	6.9%	7	2,662,485	6	501,833	5	59,922	8
X I. 消化器系の疾患 ※	32,733,168,015	7.5%	5	5,661,375	3	730,609	3	44,803	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,065,656,276	1.6%	13	1,823,924	10	368,691	9	19,164	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	49,361,918,535	11.4%	3	5,036,615	4	661,657	4	74,603	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	33,689,827,296	7.7%	4	2,028,200	7	340,610	10	98,910	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	990,363	0.0%	21	469	21	233	21	4,250	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	266,395	0.0%	22	188	22	117	22	2,277	22
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	160,392,148	0.0%	18	45,358	18	14,956	18	10,724	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,867,351,447	2.0%	12	2,010,569	8	400,443	8	22,144	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	27,904,540,174	6.4%	9	1,062,192	13	247,710	12	112,650	2
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,489,956,732	0.3%	16	842,134	15	209,682	14	7,106	19
X X II. 特殊目的用コード	38,734,001	0.0%	19	4,658	20	3,733	20	10,376	18
分類外	26,600,017	0.0%	20	16,103	19	4,328	19	6,146	20
合計	434,805,673,390			15,638,802		1,102,899		394,239	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”、“後期高齢者”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

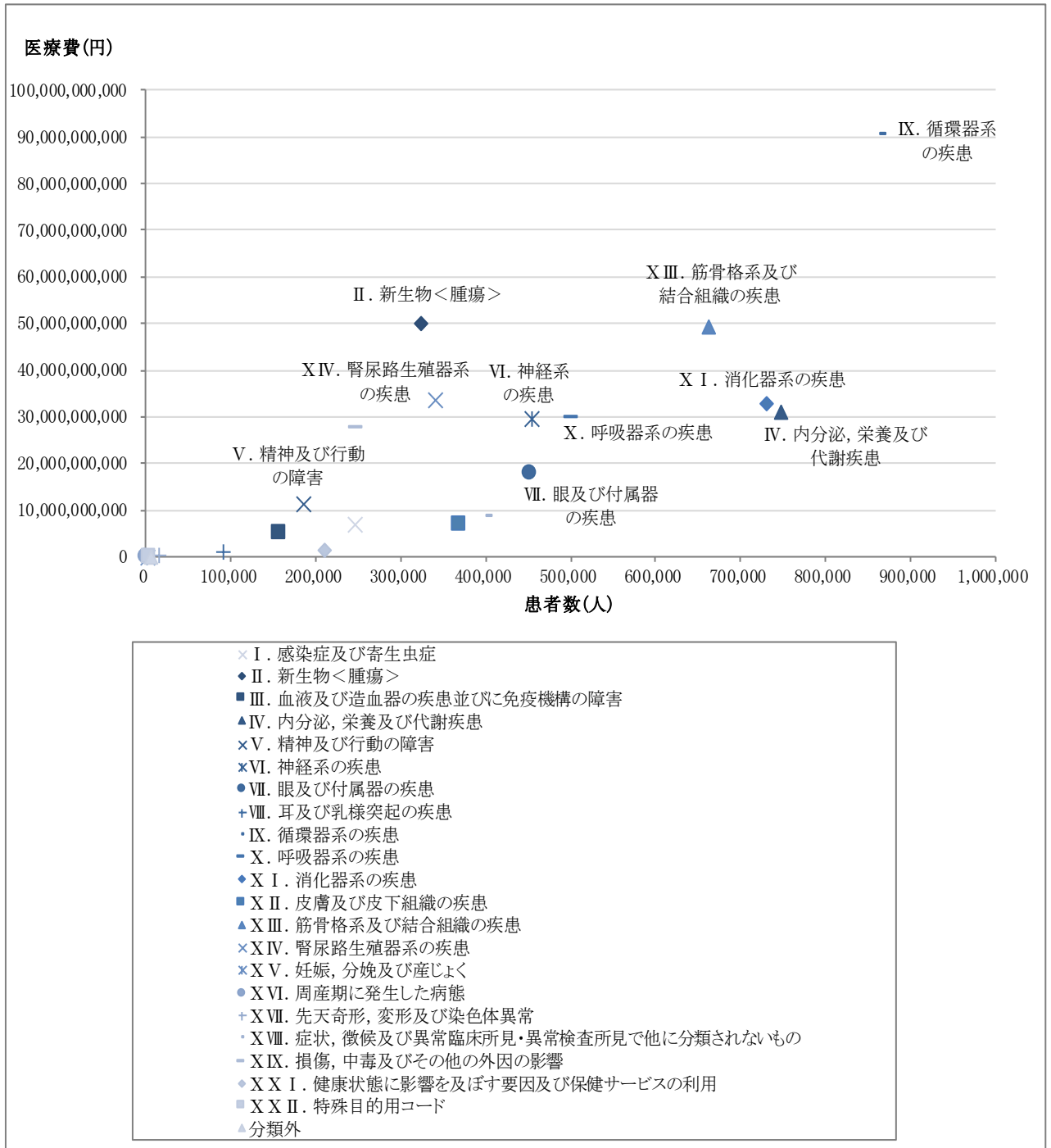
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下の通り疾病項目毎の医療費、及び患者数を示します。

大分類による疾病別医療費統計 グラフ



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②市区町村別大分類による医療費上位5疾病

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトより、大分類による医療費上位5疾病を市区町村別に示します。

市区町村別 大分類による医療費上位5疾病

	市区町村	1位	2位	3位	4位	5位
1	横浜市鶴見区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
2	横浜市神奈川区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
3	横浜市西区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
4	横浜市中区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
5	横浜市南区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
6	横浜市保土ケ谷区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
7	横浜市磯子区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅨ. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
8	横浜市金沢区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	X. 呼吸器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
9	横浜市港北区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
10	横浜市戸塚区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患
11	横浜市港南区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
12	横浜市旭区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
13	横浜市緑区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
14	横浜市瀬谷区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
15	横浜市栄区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
16	横浜市泉区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
17	横浜市青葉区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
18	横浜市都筑区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
19	川崎市川崎区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	X. 呼吸器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
20	川崎市幸区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
21	川崎市中原区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
22	川崎市高津区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
23	川崎市多摩区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
24	川崎市宮前区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
25	川崎市麻生区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	Ⅵ. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患
26	相模原市緑区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
27	相模原市中央区	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
28	相模原市南区	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患

	市区町村	1位	2位	3位	4位	5位
29	横須賀市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
30	平塚市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
31	鎌倉市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
32	藤沢市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
33	小田原市	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	VI. 神経系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
34	茅ヶ崎市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
35	逗子市	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
36	三浦市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
37	秦野市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	VI. 神経系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
38	厚木市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
39	大和市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
40	伊勢原市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
41	海老名市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
42	座間市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
43	南足柄市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
44	綾瀬市	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
45	葉山町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
46	寒川町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
47	大磯町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患
48	二宮町	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	VI. 神経系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
49	中井町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
50	大井町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	VI. 神経系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
51	松田町	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	VI. 神経系の疾患
52	山北町	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	VI. 神経系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
53	開成町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
54	箱根町	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
55	真鶴町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
56	湯河原町	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
57	愛川町	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
58	清川村	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
	広域連合全体	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

③中分類による疾病別医療費統計

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で集計し、以下に示します。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0903	その他の心疾患	31,543,661,225	7.3%	394,057
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	22,168,761,321	5.1%	176,520
3	1402	腎不全	22,129,551,016	5.1%	66,223
4	1113	その他の消化器系の疾患	21,336,194,738	4.9%	597,232
5	1901	骨折	20,915,715,684	4.8%	130,986
6	0901	高血圧性疾患	17,555,933,238	4.0%	723,158
7	0402	糖尿病	15,057,373,509	3.5%	470,613
8	0906	脳梗塞	14,825,427,952	3.4%	173,368
9	1309	骨の密度及び構造の障害	13,825,757,574	3.2%	305,114
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	12,517,533,146	2.9%	150,213

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	17,555,933,238	723,158	65.6%
2	1113	その他の消化器系の疾患	21,336,194,738	597,232	54.2%
3	0402	糖尿病	15,057,373,509	470,613	42.7%
4	0403	脂質異常症	9,733,666,758	470,138	42.6%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,867,351,447	400,443	36.3%
6	0903	その他の心疾患	31,543,661,225	394,057	35.7%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	10,199,083,887	384,298	34.8%
8	0606	その他の神経系の疾患	11,897,080,345	373,443	33.9%
9	0703	屈折及び調節の障害	843,296,481	356,568	32.3%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,723,580,891	344,347	31.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	1,171,839,850	2,556	458,466
2	1402 腎不全	22,129,551,016	66,223	334,167
3	0904 くも膜下出血	1,171,320,807	3,670	319,161
4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,569,107,611	7,088	221,375
5	0208 悪性リンパ腫	2,234,759,596	10,257	217,877
6	0905 脳内出血	4,117,482,469	19,723	208,766
7	0601 パーキンソン病	4,055,144,322	22,185	182,788
8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,244,005,039	39,803	181,996
9	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,683,877,114	9,648	174,531
10	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	2,423,083,355	15,048	161,024

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

④市区町村別中分類による医療費上位5疾病

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)における、中分類による医療費上位5疾病を市区町村別に示します。

市区町村別 中分類による医療費上位5疾病

	市区町村	1位	2位	3位	4位	5位
1	横浜市鶴見区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
2	横浜市神奈川区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
3	横浜市西区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	0906 脳梗塞
4	横浜市中区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
5	横浜市南区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
6	横浜市保土ヶ谷区	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1901 骨折
7	横浜市磯子区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
8	横浜市金沢区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全
9	横浜市港北区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患
10	横浜市戸塚区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全
11	横浜市港南区	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折	1402 腎不全
12	横浜市旭区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	1402 腎不全
13	横浜市緑区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患
14	横浜市瀬谷区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患
15	横浜市栄区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	1402 腎不全
16	横浜市泉区	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1901 骨折
17	横浜市青葉区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	0906 脳梗塞
18	横浜市都筑区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患
19	川崎市川崎区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全
20	川崎市幸区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
21	川崎市中原区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
22	川崎市高津区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
23	川崎市多摩区	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
24	川崎市宮前区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全	1901 骨折
25	川崎市麻生区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全
26	相模原市緑区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折
27	相模原市中央区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
28	相模原市南区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0901 高血圧性疾患

	市区町村	1位	2位	3位	4位	5位
29	横須賀市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系 の疾患	0901 高血圧性疾患
30	平塚市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1901 骨折	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系 の疾患
31	鎌倉市	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1901 骨折	1113 その他の消化器系 の疾患	1402 腎不全
32	藤沢市	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系 の疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1901 骨折
33	小田原市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>
34	茅ヶ崎市	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	1901 骨折
35	逗子市	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系 の疾患	1901 骨折	1402 腎不全	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>
36	三浦市	1402 腎不全	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系 の疾患
37	秦野市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系 の疾患	1901 骨折
38	厚木市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1901 骨折	1113 その他の消化器系 の疾患
39	大和市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>
40	伊勢原市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1901 骨折	1113 その他の消化器系 の疾患
41	海老名市	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患
42	座間市	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1901 骨折	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患
43	南足柄市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系 の疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>
44	綾瀬市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1901 骨折	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系 の疾患
45	葉山町	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系 の疾患	0901 高血圧性疾患	0906 脳梗塞
46	寒川町	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>
47	大磯町	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	1901 骨折
48	二宮町	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	1901 骨折	0901 高血圧性疾患
49	中井町	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1402 腎不全	0205 気管、気管支及び 肺の悪性新生物<腫瘍>
50	大井町	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系 の疾患	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全
51	松田町	1901 骨折	0903 その他の心疾患	0906 脳梗塞	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>
52	山北町	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	0901 高血圧性疾患	0602 アルツハイマー病
53	開成町	1901 骨折	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系 の疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>
54	箱根町	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患
55	真鶴町	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系 の疾患	1402 腎不全	1901 骨折
56	湯河原町	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患
57	愛川町	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患
58	清川村	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1302 関節症
	広域連合全体	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性 新生物<腫瘍>	1402 腎不全	1113 その他の消化器系 の疾患	1901 骨折

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

中分類による疾病別医療費統計

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	434,805,673,390	15,638,802	1,102,899

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,747,488,559	1.6%		925,259	5.9%		245,722	22.3%		27,460	
0101 腸管感染症	571,738,577	0.1%	77	142,636	0.9%	66	47,971	4.3%	58	11,918	85
0102 結核	236,852,521	0.1%	87	35,307	0.2%	94	14,053	1.3%	91	16,854	76
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	40,818,597	0.0%	107	30,027	0.2%	96	17,679	1.6%	83	2,309	122
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	778,507,812	0.2%	72	159,018	1.0%	63	41,883	3.8%	61	18,588	72
0105 ウイルス性肝炎	1,120,302,026	0.3%	66	133,349	0.9%	67	40,354	3.7%	62	27,762	54
0106 その他のウイルス性疾患	163,391,628	0.0%	94	15,366	0.1%	102	7,405	0.7%	98	22,065	67
0107 真菌症	1,596,899,854	0.4%	57	342,613	2.2%	45	93,532	8.5%	42	17,073	75
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	39,642,597	0.0%	108	11,869	0.1%	105	3,291	0.3%	106	12,046	84
0109 その他の感染症及び寄生虫症	2,199,334,947	0.5%	50	170,124	1.1%	58	57,202	5.2%	53	38,449	37
II. 新生物<腫瘍>	50,015,886,105	11.5%		1,199,485	7.7%		322,869	29.3%		154,911	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	3,881,964,954	0.9%	32	153,052	1.0%	64	52,831	4.8%	55	73,479	25
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	4,332,846,244	1.0%	28	159,784	1.0%	62	55,895	5.1%	54	77,518	23
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,683,877,114	0.4%	56	37,046	0.2%	93	9,648	0.9%	95	174,531	9
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	1,382,960,437	0.3%	62	48,514	0.3%	87	16,361	1.5%	86	84,528	19
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,244,005,039	1.7%	20	121,920	0.8%	70	39,803	3.6%	63	181,996	8
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	2,093,313,476	0.5%	51	71,803	0.5%	79	17,127	1.6%	84	122,223	13
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	356,973,756	0.1%	81	13,604	0.1%	104	5,912	0.5%	100	60,381	29
0208 悪性リンパ腫	2,234,759,596	0.5%	48	38,165	0.2%	92	10,257	0.9%	94	217,877	5
0209 白血病	1,171,839,850	0.3%	64	10,027	0.1%	106	2,556	0.2%	110	458,466	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	22,168,761,321	5.1%	2	624,316	4.0%	31	176,520	16.0%	25	125,588	12
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	3,464,584,318	0.8%	36	241,765	1.5%	50	104,596	9.5%	36	33,123	44
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,939,196,723	1.1%		616,215	3.9%		155,426	14.1%		31,778	
0301 貧血	2,959,073,549	0.7%	41	455,848	2.9%	41	99,306	9.0%	38	29,798	49
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,980,123,174	0.5%	54	193,765	1.2%	54	77,180	7.0%	49	25,656	59
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	31,099,328,595	7.2%		5,743,006	36.7%		747,649	67.8%		41,596	
0401 甲状腺障害	1,469,723,466	0.3%	60	441,583	2.8%	42	114,442	10.4%	33	12,843	83
0402 糖尿病	15,057,373,509	3.5%	7	2,586,482	16.5%	5	470,613	42.7%	3	31,995	46
0403 脂質異常症	9,733,666,758	2.2%	15	3,734,877	23.9%	3	470,138	42.6%	4	20,704	69
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4,838,564,862	1.1%	25	1,276,920	8.2%	15	209,908	19.0%	22	23,051	63
V. 精神及び行動の障害	11,293,703,461	2.6%		1,265,197	8.1%		184,703	16.7%		61,145	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	2,977,639,013	0.7%	40	80,839	0.5%	77	30,178	2.7%	72	98,669	16
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	112,452,574	0.0%	101	8,186	0.1%	109	1,793	0.2%	113	62,718	28
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,629,902,773	0.6%	42	269,960	1.7%	48	37,804	3.4%	65	69,567	26

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	434,805,673,390	15,638,802	1,102,899

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,228,877,937	0.5%	49	506,351	3.2%	39	63,218	5.7%	52	35,257	42
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	970,982,369	0.2%	67	631,361	4.0%	30	90,677	8.2%	43	10,708	93
0506	知的障害<精神遅滞>	16,175,378	0.0%	115	809	0.0%	117	136	0.0%	118	118,937	14
0507	その他の精神及び行動の障害	2,357,673,417	0.5%	46	116,119	0.7%	71	24,114	2.2%	76	97,772	17
VI. 神経系の疾患		29,564,718,765	6.8%		3,620,567	23.2%		453,927	41.2%		65,131	
0601	パーキンソン病	4,055,144,322	0.9%	30	160,736	1.0%	61	22,185	2.0%	77	182,788	7
0602	アルツハイマー病	9,816,765,042	2.3%	14	726,151	4.6%	27	97,290	8.8%	39	100,902	15
0603	てんかん	2,022,800,245	0.5%	53	176,247	1.1%	56	27,101	2.5%	75	74,639	24
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,569,107,611	0.4%	58	20,405	0.1%	98	7,088	0.6%	99	221,375	4
0605	自律神経系の障害	203,821,200	0.0%	90	49,570	0.3%	86	7,616	0.7%	97	26,762	56
0606	その他の神経系の疾患	11,897,080,345	2.7%	11	2,912,677	18.6%	4	373,443	33.9%	8	31,858	47
VII. 眼及び付属器の疾患		17,800,165,009	4.1%		1,989,701	12.7%		451,782	41.0%		39,400	
0701	結膜炎	1,313,940,802	0.3%	63	898,088	5.7%	23	219,144	19.9%	18	5,996	110
0702	白内障	5,443,843,839	1.3%	24	889,448	5.7%	24	218,956	19.9%	19	24,863	60
0703	屈折及び調節の障害	843,296,481	0.2%	71	1,396,676	8.9%	14	356,568	32.3%	9	2,365	121
0704	その他の眼及び付属器の疾患	10,199,083,887	2.3%	13	1,662,496	10.6%	13	384,298	34.8%	7	26,540	57
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		1,209,184,975	0.3%		313,236	2.0%		89,597	8.1%		13,496	
0801	外耳炎	75,813,915	0.0%	104	63,539	0.4%	82	22,162	2.0%	78	3,421	119
0802	その他の外耳疾患	116,851,118	0.0%	100	56,153	0.4%	84	30,677	2.8%	70	3,809	118
0803	中耳炎	167,245,304	0.0%	93	59,826	0.4%	83	16,466	1.5%	85	10,157	98
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	122,687,374	0.0%	99	54,201	0.3%	85	14,565	1.3%	90	8,423	104
0805	メニエール病	182,728,062	0.0%	92	83,336	0.5%	75	17,747	1.6%	82	10,296	97
0806	その他の内耳疾患	191,654,934	0.0%	91	38,270	0.2%	91	11,574	1.0%	93	16,559	77
0807	その他の耳疾患	352,204,268	0.1%	82	110,489	0.7%	72	38,643	3.5%	64	9,114	102
IX. 循環器系の疾患		90,725,850,634	20.9%		7,384,776	47.2%		863,942	78.3%		105,014	
0901	高血圧性疾患	17,555,933,238	4.0%	6	6,064,068	38.8%	1	723,158	65.6%	1	24,277	61
0902	虚血性心疾患	10,281,063,068	2.4%	12	1,715,775	11.0%	12	252,727	22.9%	14	40,681	34
0903	その他の心疾患	31,543,661,225	7.3%	1	2,340,347	15.0%	6	394,057	35.7%	6	80,048	22
0904	くも膜下出血	1,171,320,807	0.3%	65	9,796	0.1%	108	3,670	0.3%	104	319,161	3
0905	脳内出血	4,117,482,469	0.9%	29	47,644	0.3%	88	19,723	1.8%	81	208,766	6
0906	脳梗塞	14,825,427,952	3.4%	8	1,062,146	6.8%	19	173,368	15.7%	26	85,514	18
0907	脳動脈硬化(症)	26,090,268	0.0%	112	7,651	0.0%	110	2,467	0.2%	111	10,576	94
0908	その他の脳血管疾患	3,171,333,383	0.7%	38	307,958	2.0%	46	87,618	7.9%	45	36,195	39
0909	動脈硬化(症)	1,719,719,725	0.4%	55	397,578	2.5%	44	94,869	8.6%	41	18,127	73
0911	低血圧(症)	68,248,376	0.0%	105	18,329	0.1%	99	3,082	0.3%	107	22,144	65
0912	その他の循環器系の疾患	6,245,570,123	1.4%	21	525,894	3.4%	37	122,913	11.1%	31	50,813	30
X. 呼吸器系の疾患		30,070,749,165	6.9%		2,662,485	17.0%		501,833	45.5%		59,922	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	95,627,126	0.0%	103	96,675	0.6%	73	34,314	3.1%	68	2,787	120
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	322,550,721	0.1%	84	246,968	1.6%	49	83,202	7.5%	48	3,877	117
1003	その他の急性上気道感染症	657,226,715	0.2%	74	400,714	2.6%	43	131,402	11.9%	29	5,002	112

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	434,805,673,390	15,638,802	1,102,899

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	5,699,576,561	1.3%	23	166,310	1.1%	59	70,849	6.4%	50	80,447	21
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	536,376,859	0.1%	78	231,358	1.5%	53	86,017	7.8%	47	6,236	108
1006	アレルギー性鼻炎	2,237,369,950	0.5%	47	1,052,423	6.7%	21	211,712	19.2%	21	10,568	95
1007	慢性副鼻腔炎	316,992,262	0.1%	85	161,572	1.0%	60	36,219	3.3%	66	8,752	103
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	217,625,330	0.1%	89	89,669	0.6%	74	28,497	2.6%	74	7,637	105
1009	慢性閉塞性肺疾患	3,909,399,387	0.9%	31	591,809	3.8%	33	100,311	9.1%	37	38,973	36
1010	喘息	3,560,471,108	0.8%	35	665,293	4.3%	28	106,084	9.6%	35	33,563	43
1011	その他の呼吸器系の疾患	12,517,533,146	2.9%	10	514,933	3.3%	38	150,213	13.6%	28	83,332	20
X I. 消化器系の疾患		32,733,168,015	7.5%		5,661,375	36.2%		730,609	66.2%		44,803	
1101	う蝕 ※	65,901	0.0%	123	8	0.0%	123	6	0.0%	123	10,984	87
1102	歯肉炎及び歯周疾患	1,634,989	0.0%	117	1,044	0.0%	116	353	0.0%	116	4,632	113
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	3,923,103	0.0%	116	2,012	0.0%	115	888	0.1%	115	4,418	114
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2,037,418,065	0.5%	52	661,205	4.2%	29	108,927	9.9%	34	18,704	71
1105	胃炎及び十二指腸炎	3,723,580,891	0.9%	34	2,154,315	13.8%	8	344,347	31.2%	10	10,813	90
1106	痔核	334,673,576	0.1%	83	131,786	0.8%	68	30,675	2.8%	71	10,910	89
1107	アルコール性肝疾患	98,443,336	0.0%	102	14,262	0.1%	103	3,030	0.3%	108	32,490	45
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	141,181,498	0.0%	95	78,837	0.5%	78	15,048	1.4%	87	9,382	101
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	420,825,739	0.1%	80	64,818	0.4%	81	15,038	1.4%	89	27,984	52
1110	その他の肝疾患	952,525,146	0.2%	68	292,062	1.9%	47	86,986	7.9%	46	10,950	88
1111	胆石症及び胆のう炎	3,042,662,578	0.7%	39	172,451	1.1%	57	47,286	4.3%	59	64,346	27
1112	膝疾患	640,038,455	0.1%	75	82,230	0.5%	76	29,089	2.6%	73	22,003	68
1113	その他の消化器系の疾患	21,336,194,738	4.9%	4	4,460,451	28.5%	2	597,232	54.2%	2	35,725	41
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		7,065,656,276	1.6%		1,823,924	11.7%		368,691	33.4%		19,164	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	672,742,561	0.2%	73	149,001	1.0%	65	51,773	4.7%	56	12,994	82
1202	皮膚炎及び湿疹	2,628,839,006	0.6%	43	1,152,177	7.4%	17	243,520	22.1%	15	10,795	91
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,764,074,709	0.9%	33	1,053,795	6.7%	20	236,951	21.5%	16	15,885	79
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患		49,361,918,535	11.4%		5,036,615	32.2%		661,657	60.0%		74,603	
1301	炎症性多発性関節障害	4,451,429,957	1.0%	26	562,898	3.6%	34	95,315	8.6%	40	46,702	31
1302	関節症	8,069,811,898	1.9%	19	1,805,720	11.5%	11	272,835	24.7%	13	29,578	50
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	9,167,846,950	2.1%	16	1,815,144	11.6%	10	287,917	26.1%	12	31,842	48
1304	椎間板障害	633,509,885	0.1%	76	240,190	1.5%	51	43,403	3.9%	60	14,596	81
1305	頰腕症候群	227,244,044	0.1%	88	192,557	1.2%	55	33,966	3.1%	69	6,690	107
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	2,506,458,723	0.6%	44	1,214,905	7.8%	16	213,989	19.4%	20	11,713	86
1307	その他の脊柱障害	939,823,970	0.2%	70	234,913	1.5%	52	48,659	4.4%	57	19,314	70
1308	肩の傷害<損傷>	948,953,304	0.2%	69	531,955	3.4%	36	88,263	8.0%	44	10,751	92
1309	骨の密度及び構造の障害	13,825,757,574	3.2%	9	2,217,100	14.2%	7	305,114	27.7%	11	45,313	32
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	8,591,082,230	2.0%	18	1,137,863	7.3%	18	228,387	20.7%	17	37,616	38

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	434,805,673,390	15,638,802	1,102,899

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	33,689,827,296	7.7%		2,028,200	13.0%		340,610	30.9%		98,910	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	1,459,693,970	0.3%	61	125,141	0.8%	69	35,251	3.2%	67	41,409	33
1402 腎不全	22,129,551,016	5.1%	3	471,958	3.0%	40	66,223	6.0%	51	334,167	2
1403 尿路結石症	482,304,921	0.1%	79	69,407	0.4%	80	20,901	1.9%	80	23,076	62
1404 その他の腎尿路系の疾患	5,765,560,734	1.3%	22	1,030,936	6.6%	22	206,178	18.7%	24	27,964	53
1405 前立腺肥大(症)	3,390,687,687	0.8%	37	759,791	4.9%	26	119,713	10.9%	32	28,323	51
1406 その他の男性生殖器の疾患	126,206,579	0.0%	98	32,756	0.2%	95	7,783	0.7%	96	16,216	78
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	24,125,263	0.0%	113	16,707	0.1%	100	5,651	0.5%	101	4,269	115
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	311,697,126	0.1%	86	43,472	0.3%	89	20,965	1.9%	79	14,867	80
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	990,363	0.0%		469	0.0%		233	0.0%		4,250	
1501 流産	102,640	0.0%	122	41	0.0%	121	19	0.0%	121	5,402	111
1502 妊娠高血圧症候群	928	0.0%	124	5	0.0%	124	2	0.0%	124	464	124
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	886,795	0.0%	119	423	0.0%	118	212	0.0%	117	4,183	116
XVI. 周産期に発生した病態	266,395	0.0%		188	0.0%		117	0.0%		2,277	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1602 その他の周産期に発生した病態	266,395	0.0%	121	188	0.0%	119	117	0.0%	119	2,277	123
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	160,392,148	0.0%		45,358	0.3%		14,956	1.4%		10,724	
1701 心臓の先天奇形	26,198,612	0.0%	111	3,010	0.0%	114	1,004	0.1%	114	26,094	58
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	134,193,536	0.0%	97	42,385	0.3%	90	13,983	1.3%	92	9,597	99
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,867,351,447	2.0%		2,010,569	12.9%		400,443	36.3%		22,144	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,867,351,447	2.0%	17	2,010,569	12.9%	9	400,443	36.3%	5	22,144	66
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	27,904,540,174	6.4%		1,062,192	6.8%		247,710	22.5%		112,650	
1901 骨折	20,915,715,684	4.8%	5	619,759	4.0%	32	130,986	11.9%	30	159,679	11
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	2,423,083,355	0.6%	45	24,327	0.2%	97	15,048	1.4%	87	161,024	10
1903 熱傷及び腐食	140,971,861	0.0%	96	9,854	0.1%	107	3,495	0.3%	105	40,335	35
1904 中毒	50,978,863	0.0%	106	7,209	0.0%	111	2,884	0.3%	109	17,676	74
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	4,373,790,411	1.0%	27	535,113	3.4%	35	157,935	14.3%	27	27,694	55
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,489,956,732	0.3%		842,134	5.4%		209,682	19.0%		7,106	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	17,561,806	0.0%	114	3,446	0.0%	113	1,868	0.2%	112	9,401	100
2102 予防接種	246	0.0%	126	1	0.0%	125	1	0.0%	125	246	126
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	362	0.0%	125	1	0.0%	125	1	0.0%	125	362	125
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	434,805,673,390	15,638,802	1,102,899

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	889,283	0.0%	118	88	0.0%	120	39	0.0%	120	22,802	64
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	1,471,505,035	0.3%	59	838,743	5.4%	25	208,256	18.9%	23	7,066	106
X X II. 特殊目的用コード		38,734,001	0.0%		4,658	0.0%		3,733	0.3%		10,376	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	286,908	0.0%	120	13	0.0%	122	8	0.0%	122	35,864	40
2220	その他の特殊目的用コード	38,447,093	0.0%	109	4,646	0.0%	112	3,729	0.3%	103	10,310	96
分類外		26,600,017	0.0%		16,103	0.1%		4,328	0.4%		6,146	
9999	分類外	26,600,017	0.0%	110	16,103	0.1%	101	4,328	0.4%	102	6,146	109

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

【このページは空白です】

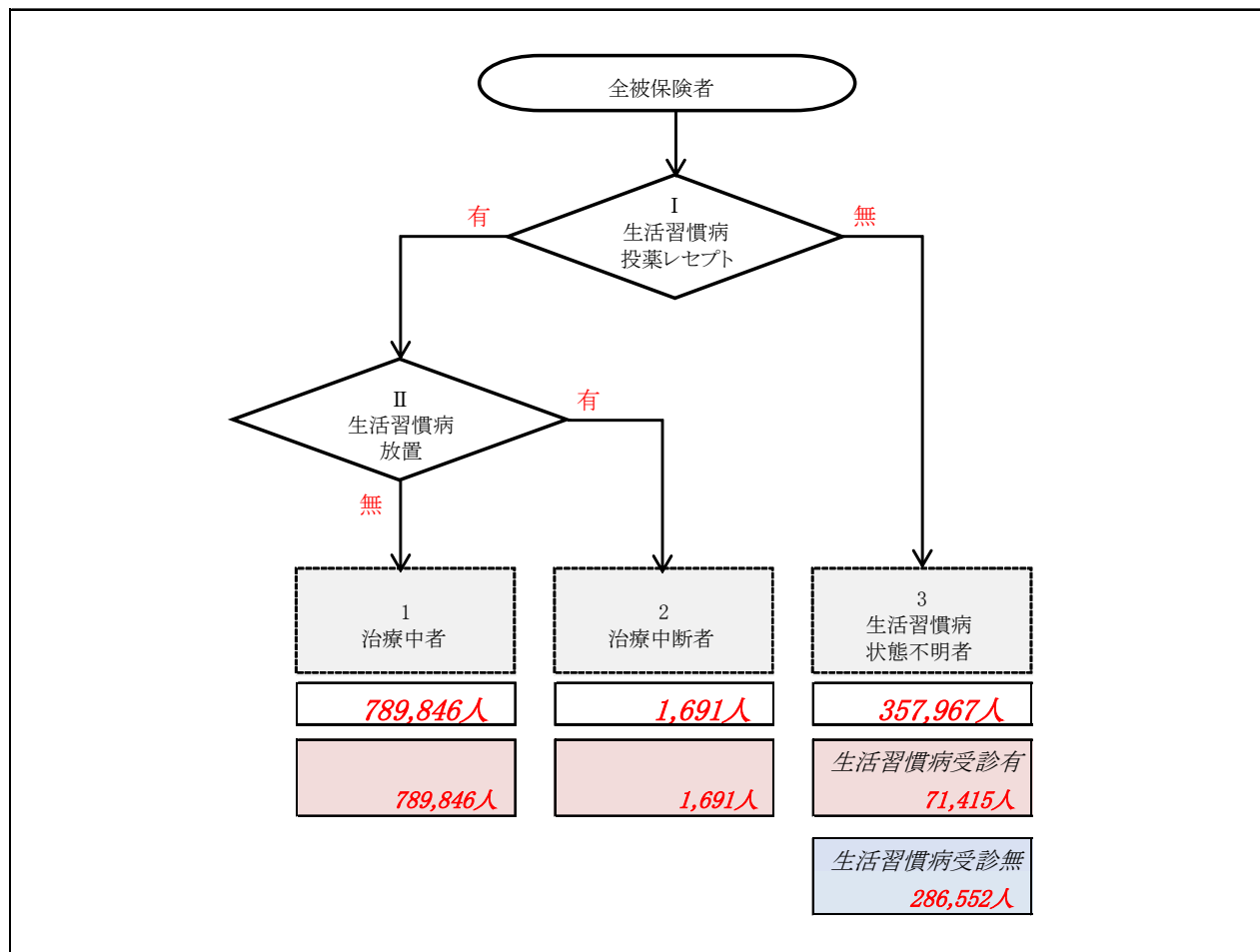
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) レセプトデータによる指導対象者群分析

全被保険者について、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、3つのグループに分類して、分析結果を以下に示します。

「1. 治療中者」に比べて「2. 治療中断者」の健康状態が悪くなっており、「3. 生活習慣病状態不明者」はレセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

レセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6ヵ月分)。

資格確認日…令和2年5月31日時点。

【フロー説明】

I 生活習慣病投薬レセプト…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。

II 生活習慣病放置…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

1. 治療中者…生活習慣病治療中の者。

2. 治療中断者…過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。

3. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。

生活習慣病受診有…「3. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。

生活習慣病受診無…「3. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

(2)生活習慣病治療中断者に係る分析

前項の分析において治療中断が発生している患者1,762人が対象となります。かつて生活習慣病で治療を行っていたにもかかわらず、現在医療機関への受診を行っていないため、将来、生活習慣病が重篤化する可能性があります。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I.条件設定による指導対象者の特定		候補者人数
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	2 治療中断者	1,691 人
	上記以外のグループ	71 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		1,762 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられます。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II.除外設定		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	251 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		1,511 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者1,511人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定します。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先としました。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ. 優先順位

↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0 人	候補者A2 17 人	候補者A3 28 人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 1 人	候補者B2 184 人	候補者B3 166 人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 22 人	候補者C2 525 人	候補者C3 568 人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				1,511 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…令和2年5月31日時点。

(3) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行いました。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、62.6%が生活習慣を起因とするものであり、その58.3%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数(人)
血液透析のみ	8,483
腹膜透析のみ	145
血液透析及び腹膜透析	52
透析患者合計	8,680

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

人工透析に至った起因を、令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)のレセプトに記載されている傷病名から判定しました。但し、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因が特定できない患者です。

人工透析患者8,680人のうち、生活習慣を起因とする疾病から人工透析に至ったと考えられる患者は5,432人です。

透析患者の起因

透析に至った起因	透析患者数(人)	割合 ※ (%)	生活習慣を起因とする疾病	食事療法等指導することで重症化を遅延できる可能性が高い疾病
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	37	0.4%	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	5,063	58.3%	●	●
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	11	0.1%	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	396	4.6%	-	●
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	366	4.2%	●	●
⑥ 腎硬化症 その他	23	0.3%	-	-
⑦ 痛風腎	3	0.0%	●	●
⑧ 起因が特定できない患者※	2,781	32.0%	-	-
透析患者合計	8,680			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

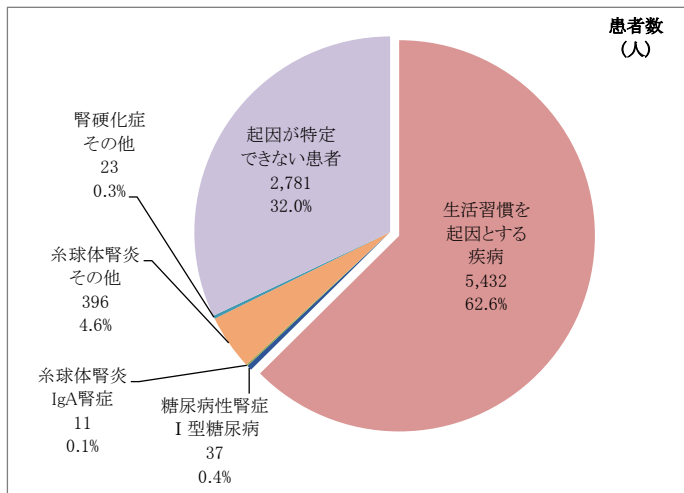
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

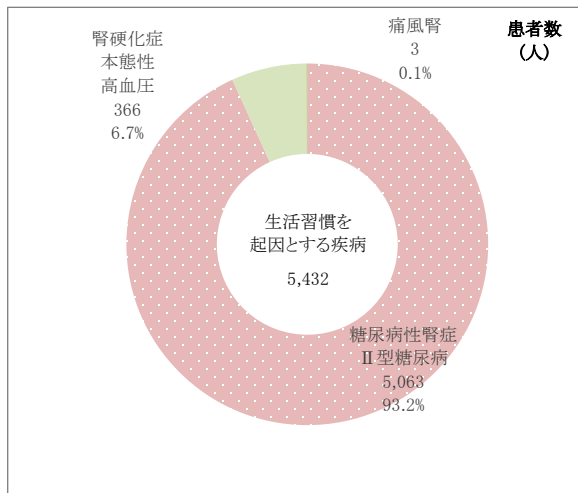
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。⑧起因が特定できない患者2,781人のうち高血圧症が確認できる患者は2,451人、高血圧性心疾患が確認できる患者は19人、痛風が確認できる患者は94人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は319人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

透析患者の起因



「生活習慣を起因とする疾病」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、人工透析患者8,680人を対象に、以下の通り医療費を分析しました。令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)での患者一人当たりの医療費平均は315万円程度、このうち透析関連の医療費が295万円程度、透析関連以外の医療費が20万円程度です。

透析患者の医療費

透析患者の起因	透析患者数(人)	割合(%)	医療費(円)			医療費(円)【一人当たり】			医療費(円)【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連以外	合計	透析関連	透析関連以外	合計	透析関連	透析関連以外	合計
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	37	0.4%	109,828,070	12,456,480	122,284,550	2,968,326	336,662	3,304,988	494,721	56,110	550,831
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	5,063	58.3%	15,511,365,350	1,140,095,240	16,651,460,590	3,063,671	225,182	3,288,853	510,612	37,530	548,142
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	11	0.1%	34,655,660	3,705,760	38,361,420	3,150,515	336,887	3,487,402	525,086	56,148	581,234
④ 糸球体腎炎 その他	396	4.6%	1,185,543,990	102,021,840	1,287,565,830	2,993,798	257,631	3,251,429	498,966	42,938	541,905
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	366	4.2%	1,070,764,340	67,926,930	1,138,691,270	2,925,586	185,593	3,111,178	487,598	30,932	518,530
⑥ 腎硬化症 その他	23	0.3%	67,794,780	1,485,990	69,280,770	2,947,599	64,608	3,012,207	491,267	10,768	502,035
⑦ 痛風腎	3	0.0%	11,903,370	1,425,610	13,328,980	3,967,790	475,203	4,442,993	661,298	79,201	740,499
⑧ 起因为特定できない患者 ※	2,781	32.0%	7,592,897,430	428,234,440	8,021,131,870	2,730,276	153,986	2,884,262	455,046	25,664	480,710
透析患者全体	8,680		25,584,752,990	1,757,352,290	27,342,105,280						
患者一人当たり医療費平均			2,947,552	202,460	3,150,012						
患者一人当たりひと月当たり医療費平均			491,259	33,743	525,002						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

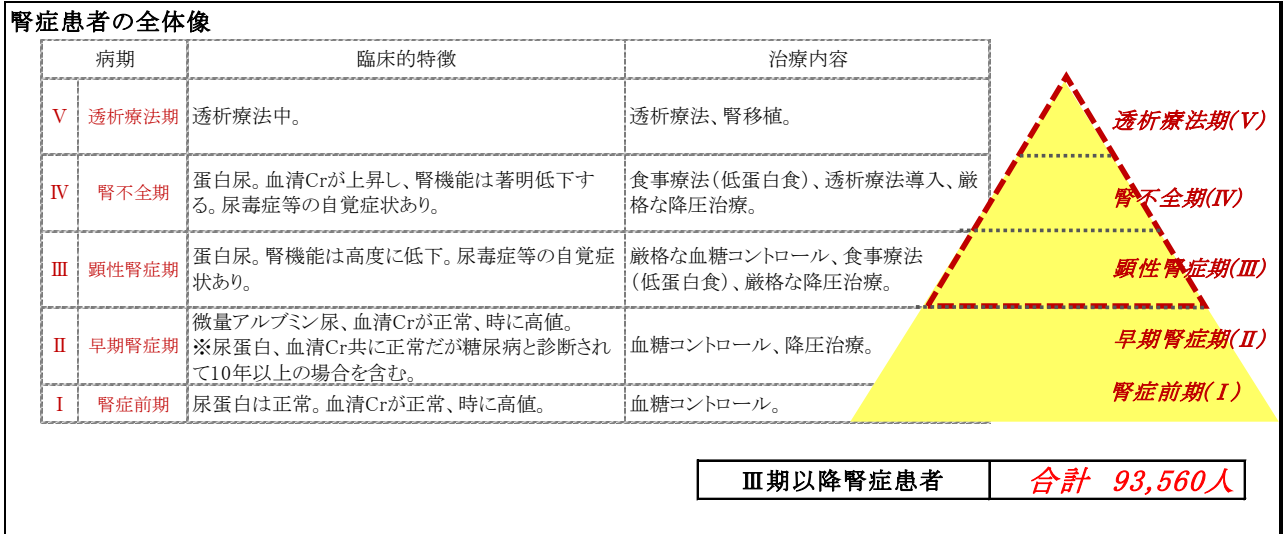
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※⑧起因为特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者93,560人中13,572人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

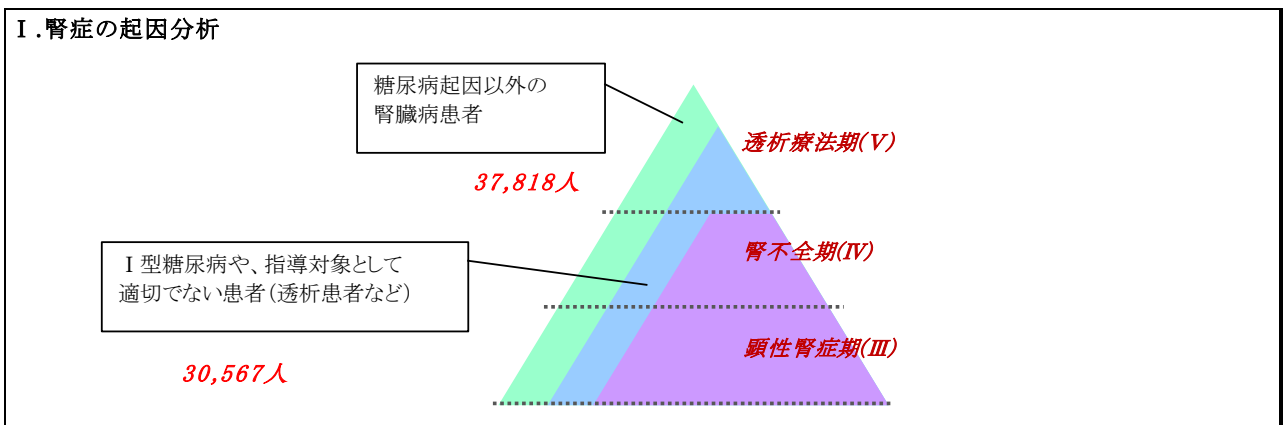
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、37,818人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、30,567人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

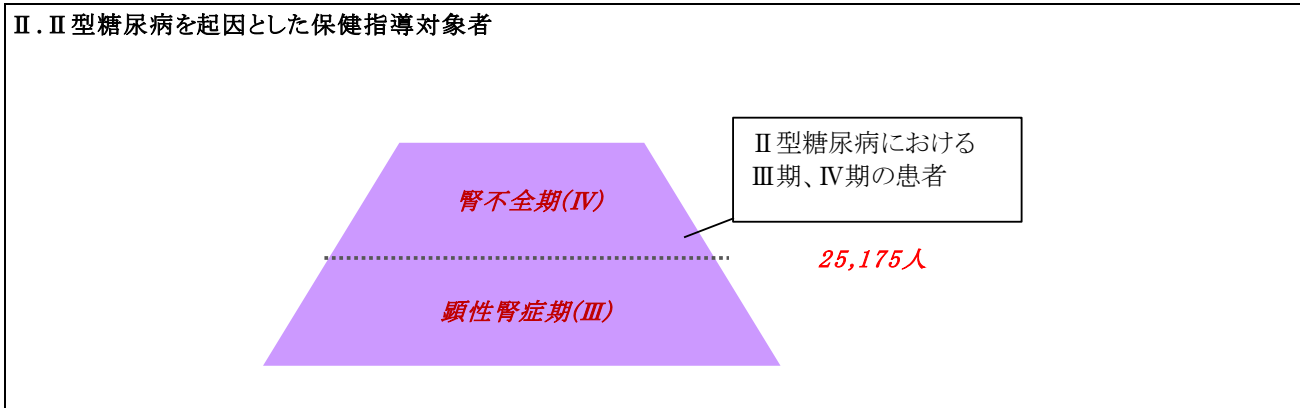
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて25,175人となりました。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となります。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

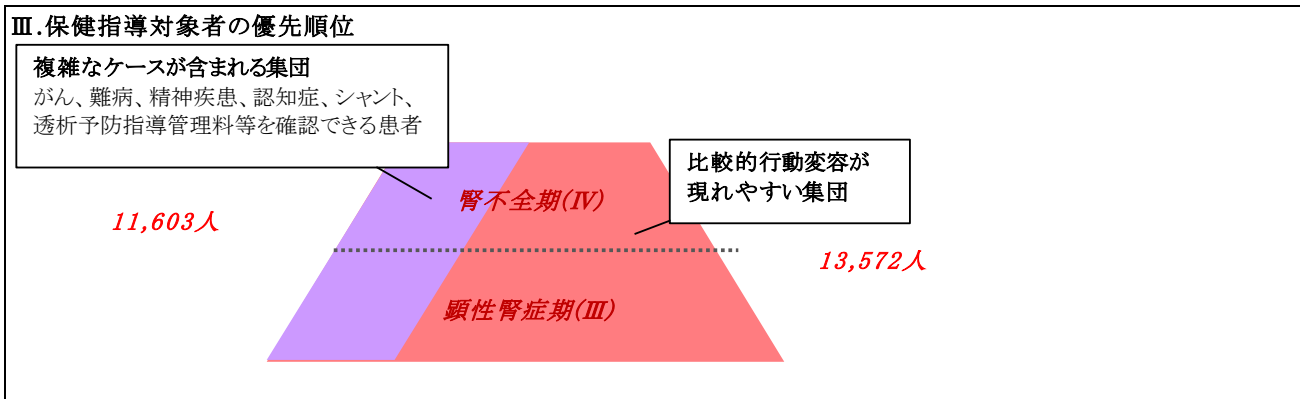


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。25,175人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、11,603人存在します。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、13,572人存在します。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

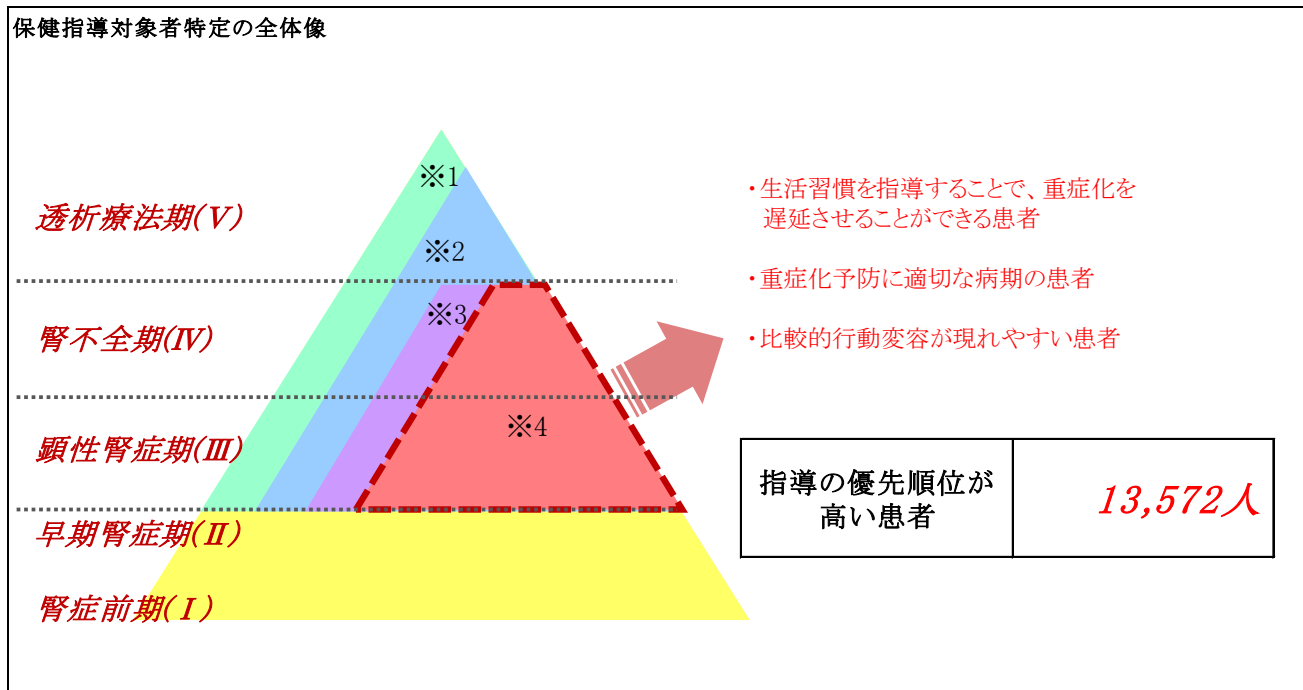
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、13,572人となりました。この分析の全体像を以下に示します。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…令和2年5月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(4) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。ここでは「多受診患者数とその傾向」を把握し、「指導対象者集団の特定」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にします。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

重複受診者数

	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月
重複受診者数(人)*	2,557	2,283	2,112	2,136	1,555	1,632
6カ月間の延べ人数						12,275人
6カ月間の実人数						9,923人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…令和2年5月31日時点。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

重複受診の要因となる主な上位疾病は以下の通りです。

順位	病名	分類	割合(%)
1	高血圧症	循環器系の疾患	17.6%
2	不眠症	神経系の疾患	7.5%
3	便秘症	消化器系の疾患	5.8%
4	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.3%
5	腰部脊柱管狭窄症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.1%
6	糖尿病	内分泌, 栄養及び代謝疾患	5.0%
7	骨粗鬆症	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.4%
8	腰痛症	筋骨格系及び結合組織の疾患	2.1%
9	アレルギー性鼻炎	呼吸器系の疾患	2.1%
10	狭心症	循環器系の疾患	1.7%

以下の通り頻回受診者数を集計した。ひと月平均4,328人程度の頻回受診者が確認できま
す。

6カ月間の延べ人数は25,969人、実人数は10,892人です。

頻回受診者数

	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月
頻回受診者数(人) [*]	5,258	3,855	4,581	5,212	3,451	3,612
6カ月間の延べ人数						25,969人
6カ月間の実人数						10,892人

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…令和2年5月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で15回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

頻回受診の要因となる主な上位疾病は以下の通りです。

順位	病名	分類	割合(%)
1	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	13.4%
2	腰部脊柱管狭窄症	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.5%
3	骨粗鬆症	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.3%
4	変形性腰椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.0%
5	高血圧症	循環器系の疾患	4.2%
6	変形性脊椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	4.2%
7	肩関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.7%
8	変形性頸椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	2.3%
9	頸椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.9%
10	頸椎症性神経根症	筋骨格系及び結合組織の疾患	1.6%

以下の通り重複服薬者数を集計しました。ひと月平均9,273人程度の重複服薬者が確認できます。6カ月間の延べ人数は55,640人、実人数は34,755人です。

重複服薬者数

	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月
重複服薬者数 [※] (人)	2,670	7,506	9,203	11,353	13,389	11,519
6カ月間の延べ人数						55,640人
6カ月間の実人数						34,755人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…令和2年5月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

重複服薬の要因となる主な上位薬品は以下の通りです。

順位	薬品名 [※]	効能	割合(%)
1	アムロジピンOD錠5mg「トーワ」	血管拡張剤	5.3%
2	マイスリー錠5mg	催眠鎮静剤, 抗不安剤	2.8%
3	フロセミド錠20mg「武田テバ」	利尿剤	2.8%
4	レバミピド錠100mg「オーツカ」	消化性潰瘍用剤	2.7%
5	ランソプラゾールOD錠15mg「武田テバ」	消化性潰瘍用剤	2.3%
6	バイアスピリン錠100mg	その他の血液・体液用薬	2.2%
7	メチコバル錠500 μ g 0.5mg	ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)	2.1%
8	レンドルミン錠0.25mg	催眠鎮静剤, 抗不安剤	2.0%
9	デパス錠0.5mg	精神神経用剤	1.8%
10	ネキシウムカプセル20mg	消化性潰瘍用剤	1.8%

※薬品名…重複服薬と判定された同系の医薬品の中で、最も多く処方された薬品名

分析結果より、6カ月間で重複受診者は9,923人、頻回受診者は10,892人、重複服薬者34,755人は人存在します。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることです。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要があります。ここでは、令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析しました。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行います。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前項の分析結果より患者数は減少します。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者・頻回受診者・重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に15回以上受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者

条件設定により候補者となった患者数

52,654人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者について除外します。

除外設定(重複受診者・頻回受診者・重複服薬者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	37,345人

除外患者を除き、候補者となった患者数

15,309人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
資格確認日…令和2年5月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者15,309人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定します。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先とします。以下の通り効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cは3,396人となりました。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位	
↑ 高 効果 低 ↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 候補者A 1,042人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 候補者B 1,675人
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当) 候補者C 679人
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者 候補者としない 11,913人
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cの患者数 3,396人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…令和2年5月31日時点。

(5)ジェネリック医薬品普及率に係る分析

①ジェネリック医薬品普及率

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。ここでは、令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)のレセプトを対象に、金額・数量・患者数においてジェネリック医薬品切り替えポテンシャルを分析しました。

薬剤費の内訳を以下に示します。薬剤費総額1,099億7,493万円(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤費総額は1,016億324万円(B)となります。以下、この金額をもとに分析を行います。先発品薬剤費は848億9,567万円(D)で83.6%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲は185億1,345万円(E)となり、18.2%を占めます。さらに通知対象薬剤のみに絞り込むと、74億1,803万円(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能範囲となり、このうち削減可能額は45億2,881万円(G)となります。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(金額ベース)

A 薬剤費総額(☆★を含む)		109,974,933		単位:千円				
B 薬剤費総額(☆★を除く)		101,603,244						
C ジェネリック医薬品 薬剤費 16,707,578		16.4%						
D 先発品薬剤費 84,895,665	83.6%	E ジェネリック医薬品 が存在する金額範囲	18,513,451	18.2%	E1 通知対象の ※ ジェネリック医薬品範囲	7,418,025	7.3%	ジェネリック医薬品薬剤費 G 削減可能額 ※ 4,528,813
		F ジェネリック医薬品 が存在しない金額範囲	66,382,214	65.3%	E2 通知対象外の ジェネリック医薬品範囲	11,095,426	10.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額又は薬価が低いもの。

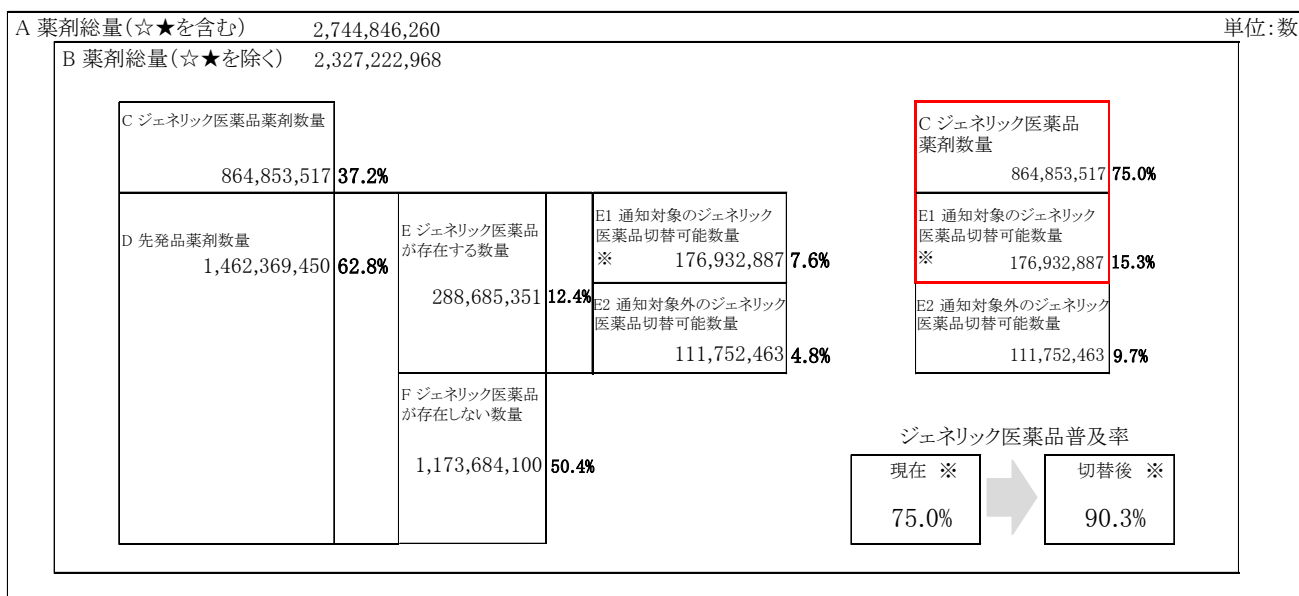
★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額又は薬価が高いもの。

※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品範囲…ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない。

※先発品のうち削減可能額…通知対象のジェネリック医薬品範囲のうち、後発品へ切り替える事により削減可能な金額。

次に、薬剤総量の内訳を以下に示します。薬剤総量27億4,485万(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤総量は23億2,722万(B)となります。以下、この数量をもとに分析を行います。先発品薬剤数量は14億6,237万(D)で62.8%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する数量は2億8,869万(E)となり、12.4%を占めます。さらに通知対象薬剤のみに絞り込むと、1億7,693万(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能数量となります。現在のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、75.0%です。ジェネリック医薬品切り替え可能数量(E1)をすべてジェネリック医薬品へ切り替えたと仮定すると、ジェネリック医薬品に置き換えられる先発品及びジェネリック医薬品をベースとしたジェネリック医薬品普及率は、現在の75.0%から90.3%となります。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額又は薬価が低いもの。

★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額又は薬価が高いもの。

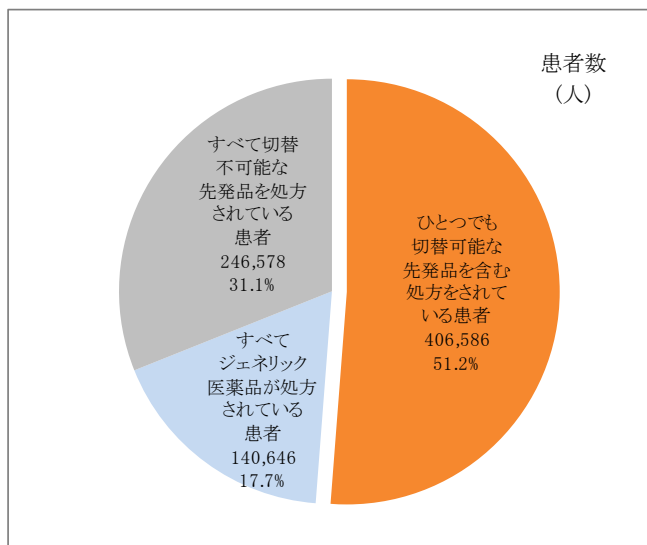
※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量…ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない。

※現在のジェネリック医薬品普及率…C ジェネリック医薬品薬剤数量/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

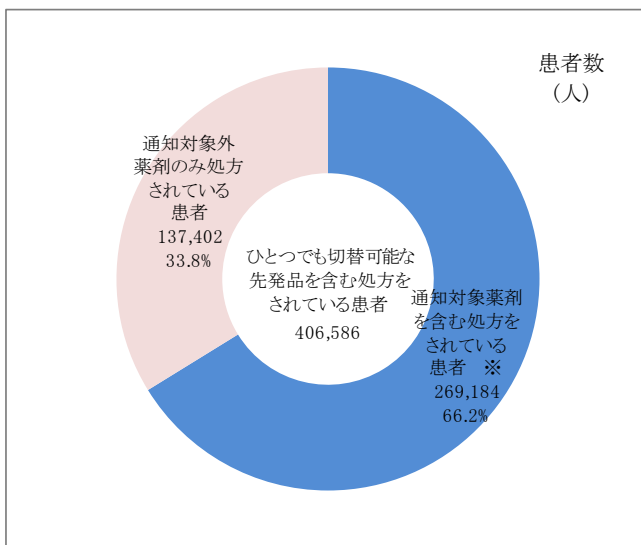
※切替後のジェネリック医薬品普及率…(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E1 通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量)/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

令和2年5月診療分のレセプトで患者毎の薬剤処方状況を以下に示します。患者数は793,810人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は406,586人で患者数全体の51.2%を占めます。さらにこのうち通知対象薬剤のみに絞り込むと、269,184人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の66.2%を占めます。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方されている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年5月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

②市区町村別ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

市区町村別にジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を以下に示します。

市区町村別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

	市区町村	ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 6カ月平均(%)	順位
1	横浜市鶴見区	78.5%	7位
2	横浜市神奈川区	75.2%	30位
3	横浜市西区	73.7%	39位
4	横浜市中区	73.5%	41位
5	横浜市南区	74.2%	38位
6	横浜市保土ヶ谷区	75.5%	25位
7	横浜市磯子区	73.3%	42位
8	横浜市金沢区	75.6%	24位
9	横浜市港北区	73.0%	46位
10	横浜市戸塚区	80.8%	2位
11	横浜市港南区	73.2%	43位
12	横浜市旭区	75.3%	29位
13	横浜市緑区	79.6%	4位
14	横浜市瀬谷区	80.1%	3位
15	横浜市栄区	77.2%	11位
16	横浜市泉区	77.7%	9位
17	横浜市青葉区	73.5%	40位
18	横浜市都筑区	76.2%	18位
19	川崎市川崎区	78.7%	6位
20	川崎市幸区	76.4%	16位
21	川崎市中原区	71.8%	51位
22	川崎市高津区	75.4%	27位
23	川崎市多摩区	76.4%	15位
24	川崎市宮前区	76.6%	14位
25	川崎市麻生区	74.3%	37位
26	相模原市緑区	78.7%	5位
27	相模原市中央区	74.8%	34位
28	相模原市南区	74.8%	35位

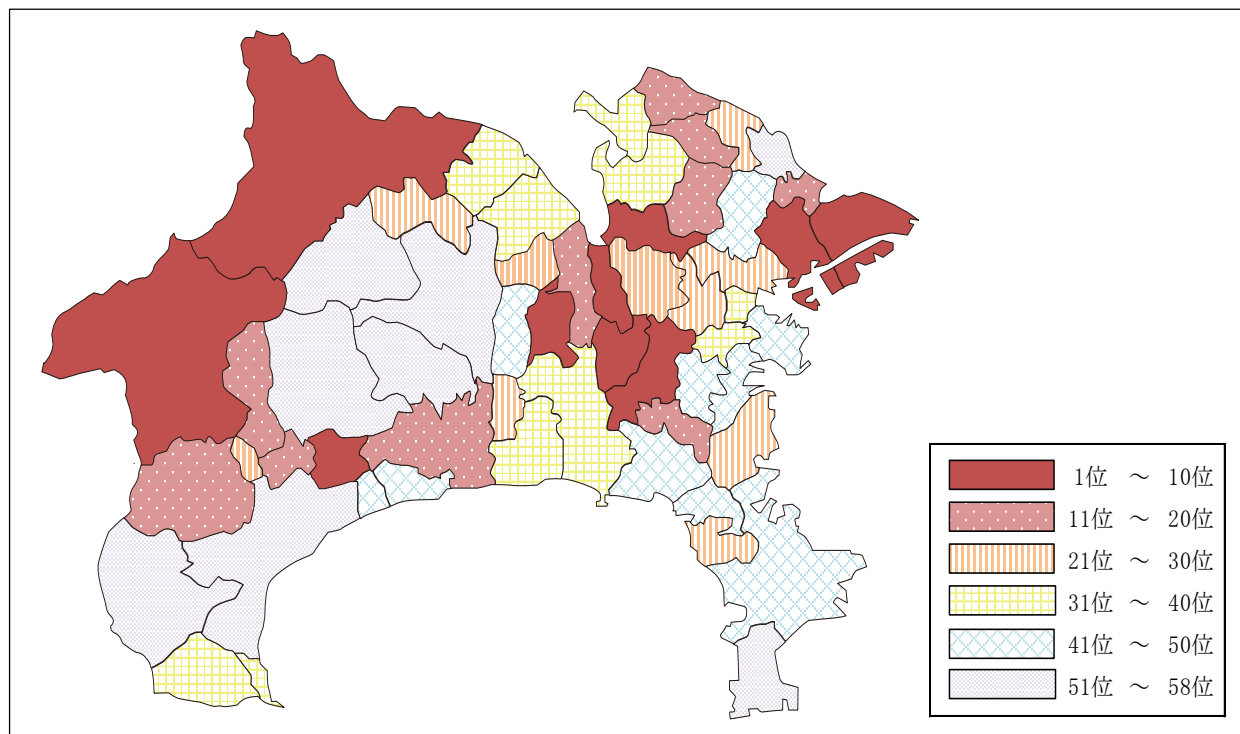
	市区町村	ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 6カ月平均(%)	順位
29	横須賀市	73.0%	44位
30	平塚市	76.0%	19位
31	鎌倉市	73.0%	45位
32	藤沢市	74.9%	33位
33	小田原市	68.1%	57位
34	茅ヶ崎市	75.0%	32位
35	逗子市	72.6%	47位
36	三浦市	71.3%	52位
37	秦野市	70.2%	56位
38	厚木市	70.9%	53位
39	大和市	76.8%	13位
40	伊勢原市	70.8%	54位
41	海老名市	71.9%	50位
42	座間市	75.9%	21位
43	南足柄市	76.0%	20位
44	綾瀬市	77.5%	10位
45	葉山町	75.7%	23位
46	寒川町	75.9%	22位
47	大磯町	72.3%	49位
48	二宮町	72.5%	48位
49	中井町	78.4%	8位
50	大井町	76.9%	12位
51	松田町	76.2%	17位
52	山北町	80.9%	1位
53	開成町	75.5%	26位
54	箱根町	70.4%	55位
55	真鶴町	75.0%	31位
56	湯河原町	74.6%	36位
57	愛川町	75.4%	28位
58	清川村	58.5%	58位
広域連合全体		75.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

市区町村別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)マッピング



(6) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性があります。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認しますが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性があります。令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)の対象者延べ人数は23,608人、実人数は14,859人です。

患者がお薬手帳を持参しない場合、薬剤併用禁忌が発生しやすく、患者の健康被害につながる可能性があります。薬剤併用禁忌情報は、各医療機関側では把握しにくい情報であり、地域の情報が集まる保険者だからこそ捉えることができる情報と言えます。保険者が薬剤併用禁忌情報を定期的に把握し、医療機関に情報提供することで、患者の健康被害防止につながります。また、情報提供を行うことで、地域の医師会・医療機関との連携にもつながります。

薬剤併用禁忌対象者数

	令和元年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月
薬剤併用禁忌対象者数 [※] (人)	4,824	4,295	4,111	3,798	3,571	3,009
6カ月間の延べ人数						23,608 人
6カ月間の実人数						14,859 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。

資格確認日…令和2年5月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示します。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	14,859
件数合計(件)	29,343

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	2,374
2	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161401	ピーエイ配合錠	1,198
3	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	1,103
4	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	704
5	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160801	トーフチーム配合顆粒	629
6	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	618
7	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	480
8	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	462
9	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	459
10	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	447
11	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	427
12	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	414
13	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	401
14	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622650101	トアラセット配合錠「DSEP」	362
15	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620161401	ピーエイ配合錠	361
16	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	351
17	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	310
18	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	307
19	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	307
20	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	295
21	内服	620161401	ピーエイ配合錠	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	248
22	内服	620004902	アスパラカリウム錠300mg	内服	620005824	セララ錠25mg	245
23	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620160801	トーフチーム配合顆粒	243
24	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムビコートタービューヘイラー60吸入	240
25	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	234
26	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	211
27	内服	620004902	アスパラカリウム錠300mg	内服	620005825	セララ錠50mg	209
28	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160801	トーフチーム配合顆粒	201
29	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	183
30	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ピーエイ配合錠	179
31	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622655601	トアラセット配合錠「サワイ」	172
32	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	162
33	内服	622650101	トアラセット配合錠「DSEP」	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	156
34	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	151
35	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	621558101	SG配合顆粒	150
36	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	150
37	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160501	PL配合顆粒	147
38	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	144
39	内服	622657101	トアラセット配合錠「トーフ」	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	140
40	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	135
41	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622278201	フルティフォーム125エアゾール120吸入用	132
42	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	122
43	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	119
44	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622375601	レルベア200エリプタ30吸入用	119
45	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	621558101	SG配合顆粒	117
46	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622375501	レルベア100エリプタ30吸入用	117
47	内服	622650101	トアラセット配合錠「DSEP」	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	116
48	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	112
49	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622666801	トアラセット配合錠「オーハラ」	104
50	内服	620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	98

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…令和2年5月31日時点。
 ※リストは51件以上省略

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)における分析結果を以下に示します。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	90,725,850,634円
2位	新生物<腫瘍>	50,015,886,105円
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	49,361,918,535円

患者数が多い疾病		患者数
1位	循環器系の疾患	863,942人
2位	内分泌、栄養及び代謝疾患	747,649人
3位	消化器系の疾患	730,609人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	新生物<腫瘍>	154,911円
2位	損傷、中毒及びその他の外因の影響	112,650円
3位	循環器系の疾患	105,014円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	その他の心疾患	31,543,661,225円
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	22,168,761,321円
3位	腎不全	22,129,551,016円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	723,158人
2位	その他の消化器系の疾患	597,232人
3位	糖尿病	470,613人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	458,466円
2位	腎不全	334,167円
3位	くも膜下出血	319,161円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	173,197件
高額レセプト件数割合	1.1%
高額レセプト医療費割合	38.2%

高額レセプト発生患者の疾病傾向(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	くも膜下出血	4,212,040円
2位	その他の脊柱障害	3,776,814円
3位	白血病	3,758,453円

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	1,691人
------------	--------

【糖尿病性腎症発症者の状況】

人工透析患者	8,680人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	5,063人

【医療機関受診状況】

重複受診者	9,923人
頻回受診者	10,892人
重複服薬者	34,755人

※令和元年12月～令和2年5月診療分(6カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率(月平均)	75.0%
-------------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	14,859人
-----------	---------

(2)分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆健康診査受診率向上 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額です。健康診査の受診率向上を図り、被保険者に生活習慣を見直すきっかけを提供することで生活習慣病を予防し、また、疾病の早期発見・早期治療に繋ぐ必要があります。 また、健診データを活用し、より実効性が高い保健事業の実施を推進する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査事業（実施主体である市町村への補助金交付） ・歯科健康診査事業
<p>◆生活習慣病治療中断者 生活習慣病治療中断者について、医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ、重症化を予防することが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病以外の生活習慣病については今後、検討が必要
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在し、糖尿病は進行すると腎症に至り人工透析が必要になります。糖尿病での受診中断者及び未受診者を適切な医療につなぐため、医療機関への受診勧奨を行い、腎症の重症化及び人工透析への移行を防止、遅延を図る必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業
<p>◆重複・頻回受診者、重複投薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在しており、それらの被保険者を正しい受診行動に導き、被保険者の健康保持増進及び医療費適正化の推進を図る必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重複・頻回受診者重複投薬者訪問指導事業
<p>◆ジェネリック医薬品の普及 国が定める現在の目標値(数量ベースで80%以上)に達していないため、ジェネリック医薬品への切り替えに係る普及啓発を、より一層推進していく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品利用差額通知事業
<p>◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在します。正しいお薬手帳の活用法、適正な服薬管理の工夫の紹介等広報啓発等の取組みや、保健指導、医療関係機関との連携を図る取組みを検討する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、検討が必要

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示します。

	事業名	事業目的及び概要
1	健康診査事業	被保険者の生活習慣病等の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療による重症化予防を図るため、市町村が主体となって実施する健康診査事業費用の一部を助成する。
2	歯科健康診査事業	歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。
3	重複・頻回受診者、重複投薬者 訪問指導事業	レセプトデータを活用し、医療機関への重複や頻回受診が確認される被保険者、また重複して同一薬を処方されている被保険者を特定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による指導を行うことにより、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。
4	糖尿病性腎症重症化 予防事業	健康診査結果及びレセプトデータを活用し、重症化するリスクの高い事業対象者を選定し、受診勧奨を行う。医療に繋げることで事業対象者の病期進行の防止または遅らせ、対象者のQOL（Quality of life：生活の質）の向上を図り、医療費の適正化に繋げる。
5	ジェネリック医薬品 利用差額通知事業	レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促し、医療費の適正化を図る。
6	医療費通知事業	被保険者の健康に対する意識の向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。
7	市町村保健事業支援	市町村が実施する保健事業を支援し、拡大を図るため、条件に一致する事業に補助金を交付する。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の研修会を開催するなど、市町村の保健事業拡大に向けた支援を行う。
8	薬剤併用禁忌 (検討中)	併用禁忌薬剤による健康被害の防止を図る。

今後の取組、検討事項	目標値	
	アウトプット	アウトカム
<p>平成30年度～令和5年度</p> <p>フレイル対策等、後期高齢者の特性を踏まえた健診項目の選定及び受診率向上を目的とした補助の仕組みについて検討し、健康診査に代えて実施する人間ドック事業への補助について、市町村へ活用を促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康診査受診率 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診査受診率
<p>口腔機能維持の重要性についての周知拡大、協力歯科医療機関の増加による被保険者の利便性向上により受診率の向上を図る。また、受診対象者のその後の状況調査等を通じ、事業効果を分析し、対象者拡大等を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歯科健康診査受診者数 歯科健康診査受診率 	<ul style="list-style-type: none"> 要治療者の内、治療に結び付けることができた歯科健康診査受診者の割合
<p>事業対象者は、年代や診療状況等を把握した上で、より事業効果が見込める者を選定できるよう引き続き選定要件を検討する。また、受診行動の改善状況等を引き続き検証し、効果的なアプローチ方法を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導実施者数 訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導実施者の内、受診行動が改善された者の割合
<p>より実効性のある事業実施対象者の抽出に向けて、基準の確立を図る。高血圧症等の糖尿病以外を起因とする腎症患者への取組みについても検討する。</p> <p>重症化予防には早期の介入が重要であるため、市町村と連携し、市町村が実施する糖尿病性腎症重症化予防事業に対して補助金を交付するなど引き続き支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導実施者数（令和元年度まで） 訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合（令和元年度まで） 受診勧奨が必要な者のうち、受診勧奨を実施した者の割合 	<ul style="list-style-type: none"> 受診勧奨実施者の内、医療機関の受診に繋がった者の割合 訪問指導実施者の内、検査値が改善された者の割合（令和元年度まで）
<p>普及率や一剤あたりの効果額、神奈川県の実績、当広域連合の実績を参考に薬効数を絞り込むなど、より効果的な利用促進を行う。引き続き、普及啓発を実施し、数量シェアの低い地域への取組みについて、検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通知事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 通知対象者の内、ジェネリック医薬品へ切り替えた者の数
<p>引き続き、健康に対する意識向上や後期高齢者医療制度への理解を深めてもらうため、医療費通知や意識向上に資する通知を発送し、医療費適正化に向けた更なる普及啓発を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実施市町村数 	<ul style="list-style-type: none"> 実施市町村数
<p>市町村で実施している保健事業の支援だけでなく、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進のため、各市町村と個別に調整を図るなど、市町村における保健事業の新規実施・拡大を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象市町村数 補助対象事業数 	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象市町村数 補助対象事業数
<p>多剤・併用禁忌薬剤を服薬している者の抽出を実施し、事業内容について県医師会、県薬剤師会等関係機関と連携し、事業の方向性を決定するとともに、評価指標を設定し、取組みを推進する。</p>	<p>検討中</p>	<p>検討中</p>

2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りです。

(1) 健康診査事業

【事業目的及び概要】

被保険者の生活習慣病等の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療による重症化予防を図るため、市町村が主体となって実施する健康診査事業費用の一部を助成する。

【対象者】

被保険者

入院患者、介護施設入所者、既に生活習慣病で治療を受けている者等で、実施方法等にある項目と同等の検査を受けている者については、必ずしも健康診査を実施する必要はない。

【今後の取組、検討事項】

フレイル対策等、後期高齢者の特性を踏まえた健診項目の選定及び受診率向上を目的とした補助の仕組みについて検討する。また、健康診査に代えて実施する人間ドック事業への補助について、特定健康診査システムへデータ登録することを条件に補助対象となるよう平成30年度に要綱を改正したため、市町村へ活用を促し、受診率向上に繋げる。

【評価指標等】

アウトプット・アウトカム評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康診査受診率	目標値	25.5%	26.9%	26.7%	前年度実績 +0.5ポイント	前年度実績 +0.5ポイント	前年度実績 +0.5ポイント
	実績	26.36%	26.18%				

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

(2) 歯科健康診査事業

【事業目的及び概要】

歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。

【対象者】

前年度75歳に到達した被保険者

【今後の取組、検討事項】

県歯科医師会と連携し、協力医療機関の増加による利便性向上を図る。また、被保険者への配布物に口腔機能検査の重要性を記載することで事業内容の周知、PRに努め、受診者数（受診率）増加に向けて取り組む。受診対象者のその後の受診行動の状況調査等を通じ、本事業の効果をより深く分析し、対象者の拡大を含め、今後の事業展開について検討を進める。

【評価指標等】

アウトプット評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歯科健康診査受診者数	目標値	4,500人	4,763人	5,439人	前年度実績+5.0%	前年度実績+5.0%	前年度実績+5.0%
	実績	4,537人	5,180人				
歯科健康診査受診率	目標値	—	—	5.00%	前年度実績+0.5ポイント	前年度実績+0.5ポイント	前年度実績+0.5ポイント
	実績	4.66%	4.89%				

アウトカム評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
要治療者の内、治療に結び付けることができた歯科健康診査受診者の割合	目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
	実績	92.9%	97.2%				

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

(3) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、医療機関への重複や頻回受診等が確認される被保険者、また重複して同一薬を処方されている被保険者を次の基準により選定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による訪問指導（原則2回）を行い、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。

【対象者】

- ・ 重複受診者 複数月連続して1か月に同一疾病で医療機関を3か所以上受診している被保険者
- ・ 頻回受診者 3か月連続して1か月に同一医療機関を15回以上受診している被保険者
- ・ 重複投薬者 3か月連続して1か月に同系医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の処方日数の合計が60日を超えている被保険者

【今後の取組、検討事項】

対象者選定にあたっては、年代や診療状況などを把握した上で、より事業効果が見込める対象者を選定できるよう選定要件を検討する。また、訪問指導実施者の受診行動の改善状況等を引き続き検証し、課題を把握することにより、効果的なアプローチ方法の検討を行う。

【評価指標等】

アウトプット評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問指導実施者数	目標値	60人	70人	80人	90人	100人	100人
	実績	89人	35人				
訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	目標値	70.0%	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%
	実績	67.4%	80.0%				
アウトカム評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問指導実施者の内、受診行動が改善された者の割合	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	実績	62.9%	74.3%				

【評価方法】

事業実施翌年度のレセプトデータ等により、目標値の達成状況確認

※アウトカム評価については、訪問指導実施者（指導未完了者を含む）の内、本事業対象者ではなくなった者を受診行動が改善された者とする。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業

【事業目的及び概要】

レセプト及び健康診査データを活用し、事業実施対象者を選定。糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い医療機関未受診者や受診中断者に対しては通知送付による受診勧奨を行い、適切な医療に結びつけることで、腎不全、人工透析への移行を防止または遅らせ、QOL (Quality of life: 生活の質) の向上を図り、医療費の適正化に繋げる。

(本事業は、平成29年度より実施。)

【対象者】

健診データ及びレセプトデータを活用して抽出された、医療機関未受診者・受診中断者のうち、重症化するリスクが低下する可能性のある被保険者。

ただし、1型糖尿病の者、既に人工透析を行っている者、その他、がん、難病等、発症に複雑な起因があり、受診勧奨や保健指導が困難と判断される者は除外する。

【今後の取組、検討事項】

より実効性のある事業実施対象者の抽出に向けて、基準の確立を図る。高血圧症等の糖尿病以外を起因とする腎症患者への取組みについても検討する。

重症化予防には早期の介入が重要であるため、市町村と連携し、市町村が実施する糖尿病性腎症重症化予防事業に対して補助金を交付するなど引き続き支援を行う。

【評価指標等】

アウトプット評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問指導実施者数	目標値	15人	20人	—	—	—	—
	実績	11人	18人	—	—	—	—
訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	目標値	35.0%	35.0%	—	—	—	—
	実績	90.9%	94.4%	—	—	—	—
受診勧奨が必要な者の内、受診勧奨を実施した者の割合	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%
	実績	—	—				

アウトカム評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診勧奨実施者の内、医療機関の受診に繋がった者の割合	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	実績	13.0%	52.3%				
訪問指導実施者の内、検査値が改善された者の割合	目標値	80.0%	80.0%	—	—	—	—
	実績	0.0%		—	—	—	—

【評価方法】

事業実施翌年度のレセプト及び健診データ等により、目標値の達成状況を確認

(5) ジェネリック医薬品利用差額通知事業

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促し、医療費の適正化を図る。

【対象者】

ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費軽減額が一定以上の被保険者

【今後の取組、検討事項】

切替率・効果額ともに最大限の効果を見込めるようにするため、普及率や一剤あたりの効果額を参考にし、薬効数を絞り込むなど、より効果的な利用促進を行う。後発医薬品の先発医薬品との同等性、安全性等、後発医薬品に対する理解を深めてもらうよう普及啓発を実施する。

また、数量シェアの低い地域への取組みについて、引き続き、検討する。

【評価指標等】

アウトプット評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通知事業の実施	目標値	40,000通	42,000通	効果的な対象者選定による通知事業の実施			
	実績	40,174通	42,023通				

アウトカム評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通知対象者の内、ジェネリック医薬品へ切り替えた者の数	目標値	4,000人	4,000人	3,957人	前年度実績+10.0%	前年度実績+10.0%	前年度実績+10.0%
	実績	3,718人	3,597人				

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

(6) 医療費通知事業

【事業目的及び概要】

被保険者の健康に対する意識の向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。(年2回の送付のほか、被保険者から希望があった場合は、随時通知を送付。)

【対象者】

被保険者

【今後の取組、検討事項】

事業内容の改善を図りながら、引き続き、健康に対する意識向上や後期高齢者医療制度への理解を深めてもらうため、医療費通知や意識向上に資する通知を発送し、医療費適正化に向けた更なる普及啓発を図る。

【評価指標等】

アウトプット・アウトカム評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施市町村数	目標値	33	33	33	33	33	33
	実績	33	33				

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

(7) 市町村保健事業支援

【事業目的及び概要】

市町村が実施する保健事業を支援し、拡大を図るため、条件に一致する事業に補助金を交付する。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の研修会を開催するなど、市町村の保健事業拡大に向けた支援を行う。

【対象者】

神奈川県内市町村

【今後の取組、検討事項】

長寿・健康増進事業やインセンティブ評価対象事業等、既に市町村で実施している保健事業の支援だけでなく、令和6年度までに33市町村へ委託予定の高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進のため、医療保健情報の提供と併せて、各市町村と個別に調整を図る。また、県・国保連と連携して研修会を開催し、各市町村の実施状況等を情報提供する機会を設けるなど、市町村における保健事業の新規実施・拡大を支援する。

【評価指標等】

アウトプット・アウトカム評価	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助対象市町村数 補助対象事業数	目標値	—	12市 24事業	12市 24事業	14市 26事業	16市 28事業	18市 30事業
	実績	—	13市町 25事業				

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

3. 保健事業の実施に当たっての留意事項

保健事業は、高齢者の健康の特性に注意しながら、①被保険者一人ひとりの状況に即して健康保持増進を支援すること、②特に、生活習慣病等の重症化予防、運動・認知機能の低下防止、低栄養の回避等に向けた生活習慣見直しに重点を置くこと、③日常生活が制約される場合には、福祉・介護等の支援につなげること、④神奈川県及び市町村と協力・連携して実施すること、⑤健康・医療情報を活用し、P D C Aサイクルに沿って事業を運営することを基本的な考え方として実施していきます。

高齢者の健康の特性

- ・加齢に伴い心身が衰え、運動機能や認知機能が低下する。
- ・複数の慢性疾患を有し、完治を見込みにくい場合が多い。
- ・若年期に比べ生活習慣改善の効果による予防効果は必ずしも大きくない。
- ・健康状態、心身機能、生活状況等の個人差が大きい。
- ・健康面の不安が生活上の課題となりやすい。

出典：厚生労働省 第84回社会保障審議会医療保険部会資料

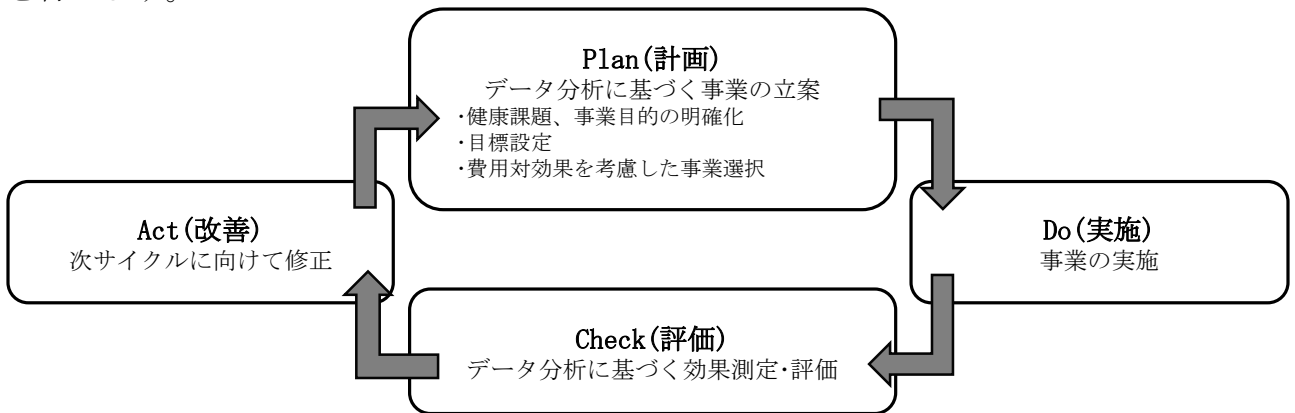
第4章 その他

1. データヘルス計画の運用

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、設定した評価指標に基づき、毎年度評価及び進捗確認を行い、必要に応じて事業の実施内容、方法等の見直しを行います。また、計画期間の途中で事業実績に基づく中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。

次期計画の策定を円滑に行うため、本計画の最終年度においては、その上半期に仮評価を行います。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施します。

2. 計画の公表・周知

本計画は、本広域連合のホームページに掲載し、被保険者への周知に努めます。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めます。

3. 個人情報の取り扱い

本計画の実施に当たり、本広域連合における個人情報の取り扱いについては、神奈川県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例(平成19年3月条例第16号)に基づき、適正に管理します。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

要介護認定率の地域差、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なることから、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組を進め、地域の実態把握・課題分析を関係者間で共有し、連携した事業への取組みに努めます。

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
1. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
2. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及び他の他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
5. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
6. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痲痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
7. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
8. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳癭孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
9. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
10. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
1 1. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎〔アルコール性のものを除く〕	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変〔アルコール性のものを除く〕	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
1 2. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
1 3. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
1 4. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
1 5. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
1 6. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
1 7. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 嚢形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
1 8. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
1 9. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
2 1. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植込み後	人工股関節置換術後
2 2. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		